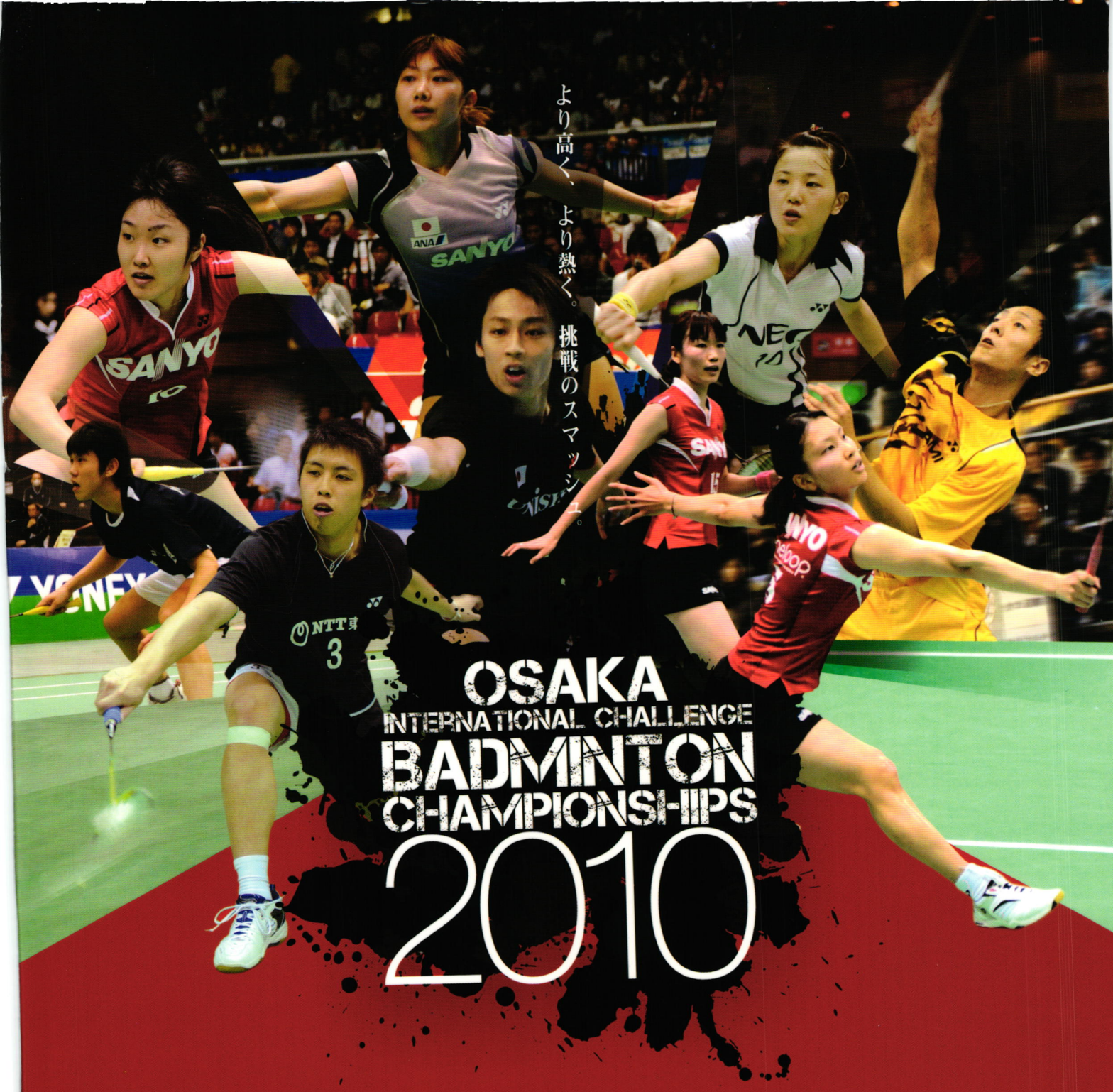


OSAKA INTERNATIONAL CHALLENGE BADMINTON CHAMPIONSHIPS 2010

OSAKA インターナショナルチャレンジ バドミントン選手権大会

2010 OSAKA INTERNATIONAL CHALLENGE BADMINTON CHAMPIONSHIPS

おいしさ、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®



カラダの中から
スポーツを愛する
全ての人を応援しています。

効率的なトレーニングや
試合でのベストパフォーマンスのために。
トップアスリートからスポーツ愛好家まで、
スポーツを愛する全ての人を
アミノ酸のチカラで
サポートするサプリメントです。

もっと、動ける、楽しめる。

amino VITAL® アミノバイタル®

スポーツ ニュートリション

「アミノバイタル」30本入箱

「アミノバイタル」プロ 14本入箱

PLAY TRUE
2020

[財]日本アンチ・ドーピング機構の
公式認定商品です。



2010 OSAKA INTERNATIONAL CHALLENGE BADMINTON CHAMPIONSHIPS

02 MESSAGE
ごあいさつ

04 PREVIEW
大会展望

08 CLOSE UP!
注目選手

20 HIGHLIGHT 2009
2009年大会レポート

23 FLY HIGH!
地元選手紹介

24 LIST OF WINNERS 2007-2009
歴代ベスト4

26 LIST OF COMPETITORS
出場予定選手

28 OFFICIALS
オフィシャル

OSAKAインターナショナルチャレンジ バドミントン選手権大会

4/7(水) 予選 9：00開場 10：00試合開始

4/8(木) 1・2回戦 9：00開場 10：00試合開始

4/9(金) 2・3回戦 9：00開場 10：00試合開始

4/10(土) 準決勝 10：00開場 11：00試合開始

4/11(日) 決勝 10：00開場 11：00試合開始

会場：守口市民体育館（京阪電車 守口市駅前）

〒570-0038 大阪府守口市河原町9-2
TEL06-6992-8201

賞金総額 US$15,000

優勝賞金	男子シングルス	US$1,200
	女子シングルス	US$1,035
	男子ダブルス	US$1,080
	女子ダブルス	US$915
	混合ダブルス	US$915

主　催	財団法人日本バドミントン協会（N.B.A）
公　認	世界バドミントン連盟（B.W.F.）
主　管	大阪府バドミントン協会
冠協賛	三洋電機株式会社
特別協賛	ヨネックス株式会社
後　援	大阪府・大阪府教育委員会 （財）大阪体育協会

http://www.badminton.or.jp/にて対戦カード・試合速報などをお知らせする予定です。

MESSAGE

ごあいさつ【OSAKAインターナショナルチャレンジ2010に寄せて】



財団法人日本バドミントン協会
綿貫 民輔
Tamisuke Watanuki
President,
Nippon Badminton Association(N.B.A)

昨年に引き続き、世界バドミントン連盟（BWF）公認の「大阪インターナショナルチャレンジ2010バドミントン選手権大会」が大阪府守口市で開催できますことは本会関係者として、喜びに堪えません。

本会はBWF公認のインターナショナルチャレンジとして2007から日本で開催され4年目となります。

日本では他にスーパーシリーズのヨネックスオープンジャパン、ジュニア対象のANAアジアユース、及びシニア対象のヨネックス杯国際レディース大会があり、国際試合として4大会の開催となります。

本会といたしましては2年後のロンドンオリンピックでのメダル獲得に向けて、代表選手から若手の選手育成にいたるまで多くの選手に国際舞台の経験を積ませることにより世界の最高峰の技術を体感し、習得することを念願致します。

将来、世界を目指すジュニア選手及び観客のバドミントン愛好者には夢と希望と感動を与えることを期待しております。

選手の皆様には日頃の練習の成果を十二分に発揮され、試合に勝つことは勿論ですが、各国の参加選手・役員の皆様との友好を深められることを期待致します。

終わりに、本大会開催に当たり、多大なるご支援、ご尽力を賜りました、BWF、BAC、大阪府の関係各位、協力企業関係各位の皆様に感謝申し上げましてご挨拶と致します。

It is the greatest pleasure for us to hold the OSAKA INTERNATIONAL CHALLENGE 2010 in Moriguchi City following last year, as Badminton World Federation (BWF) sanctioned event.

It is the fourth year for this event, starting from 2007, as BWF sanctioned International Challenge event.
Other than this event, we hold 4 international events in Japan; such as Yonex Open Japan BWF Super Series, ANA Asia Youth for young junior players, and Yonex Cup International Ladies Championships.

We, Nippon Badminton Association, hope that players, who are experienced national team players, and young, developing players, experience more international matches and acquire higher skills through international events. And they will aim for London Olympic in 2012 and hopefully obtain medals.

They impress junior players who will play internationally in the future and badminton fans with the dream and hope. I expect that the players win the match, demonstrate the full achievement of the daily trainings, and expand international friendship and relationship.

Finally, I would like to express my sincere appreciation for BWF, Badminton Asia Confederation (BAC), members of Osaka Badminton Association, and the supporting companies who have devoted themselves to make this tournament a success.

I am delighted to send you greetings and warm wishes of the Council of Badminton Asia Confederation on the occasion of the celebration of the Osaka International Challenge. I hope your stay in this lovely city is memorable and you enjoy a rewarding Competition.

Though this championship is only a Level 4 tournament carrying a small prize money of US15,000, yet in the eye of the BAC it is a very important one. Championships such as the Osaka Challenge provide the platform for young aspiring players to display their talent against opposition of a similar standard as themselves.

There are no overwhelming favorites in this championship. Most of you have an equal fighting chance of winning laurels. Even if you are not successful to find a place on the podium on the final night, you would have still gained very valuable experience playing against your peers on an international platform.

I wish all players, officials and organizers a productive tournament.

バドミントンアジア連盟ならびに同連盟理事を代表しまして、大阪インターナショナルチャレンジが開催されることを大変喜ばしく思います。参加される皆様は、この素敵な都市での滞在をお楽しみいただき、また実りある大会になることを望みます。

この大会はレベル4の賞金総額15,000USドルの大会ではありますが、アジア連盟としては非常に大切な大会であると位置付けております。なぜなら、大阪インターナショナルチャレンジのような大会は若い選手にとっては世界への登竜門として考えられる大会であり、お互いの実力を発揮できる大会であります。

圧倒的に強い選手が参加しているわけではありません。参加しているすべての選手に勝利をつかむチャンスがあります。たとえ決勝戦の日に表彰台に上れない結果になったとしても、この国際試合という舞台で良きライバル達と競い合ったという貴重な経験をすることができるのです。

最後になりましたが、参加選手、スタッフならびに大会関係役員の方々にとって実り多き大会となりますようお祈り申し上げます。



バドミントンアジア連盟会長
スティヨソ
Dr Sutiyoso
President,
Badminton Asia Confederation(B.A.C)



大阪府バドミントン協会　会長

三宅 祐司

Yuji Miyake

President,
Osaka Badminton Association

桜花爛漫な季節に世界各国から強豪選手を多数お迎えし、「大阪インターナショナルチャレンジ2010」を、大阪府守口市民体育館において開催できますことは、誠に喜ばしいことであり、皆様のご来日を心より歓迎いたします。

この大会は昨年に続き4回目の開催となり、国内では9月に開催される「ヨネックスオープンジャパン」とともに、世界ランキングポイントを獲得できる大会となっています。

2年後に開催されるロンドンオリンピックに向けて、今年からマッチレースが展開され、熾烈な戦いが繰り広げられることを期待いたします。

この大会は世界のランキングポイントの獲得を目指し、最高の技術を競い、多くのバドミントン愛好者に夢と感動を与えてくれるものと確信しております。

この大会を通じて役員・選手の皆様が、国際親善と交流の輪を広げることを大いに期待し、選手の皆様には日頃の成果を十分に発揮され、熱戦を展開されることを期待しております。

本大会開催に多大なるご支援、ご尽力いただいた関係各位の皆様に感謝申し上げ歓迎の言葉といたします。

It is my great pleasure to welcome the top players from around the world to "the Osaka International Challenge 2010 Badminton Championships" at Moriguchi Civic Gymnasium in this good season of cherry blossoms in full bloom.

This is the forth International match following last year in Osaka. The players who participate in this Championship can earn BWF World Ranking points as well as "Yonex Japan Open" held in September in Japan.

The race to get the points will be held this year in preparation for London Olympics in 2 years' time. I expect the fierce competition has been unfolded among players as for this Olympics race.

I believe that all the players here will give full play to their abilities and compete for the points. And that will give a great deal of dreams and excitement to us and all the badminton lovers.

I hope that the players and staffs will expand the international amity and circle of friendship through this event, and all the players will demonstrate enough their achievements of daily trainings and show us exciting games.

I would like to express my sincere appreciation to all the people involved for their efforts to open this Championship as a welcome tribute.

It is my great pleasure that the International Challenge 2010 Badminton Championships is being held in Osaka. On behalf of all the people of this prefecture, I would like to express my cordial welcome to all the participating athletes and officials to Osaka.

Our expectation is that exciting matches played by the world's top players in the Osaka International Challenge will give our prefectural residents dreams and hopes as well as much impression and excitement.

I hope all the players will demonstrate breathtaking performances, aiming to earn the BWF World Ranking points. The London Olympic Games will be held in two years. I anticipate that many participants in this event can show their prowess technique and speed on the prestigious Olympic stage as their respective home country's national team members. With your encouragement, on my part, I would like to make my utmost efforts to further develop Osaka into a metropolis where people can lead happy active lives.

I extend my sincere appreciation for all those who have made efforts in implementing this program. Wishing all of you happiness and the continued success of the Championship, I would like to conclude my greetings.

「大阪インターナショナルチャレンジ2010バドミントン選手権大会」が、今年も盛大に開催されますことを心からお喜び申しあげます。選手・関係者の皆様、ようこそ大阪にお越しくださいました。大阪府民を代表して心から歓迎いたします。

ここ大阪で、世界で活躍するトップ選手の皆さんによる迫力に満ちた熱戦が繰り広げられることは、府民に夢と希望を与え、多くの興奮や感動をもたらしてくれることと期待しています。

また、選手の皆さんは、本大会では世界ランキングポイントの獲得を目指し、手に汗握る素晴らしい試合を展開してください。2年後にはロンドンオリンピックがせまっています。この大会を飛躍の舞台として、多くの選手の皆さんが各国の代表選手としてオリンピックの檜舞台で、さらに磨き抜かれた世界最高の技とスピードを披露してくれることを大いに期待しています。私も皆様に力をいただいて、大阪が元気いっぱい笑顔あふれる街になるよう、全力で取り組んで参ります。

本大会の開催にご尽力された関係の皆様に対し、深く敬意を表するとともに、本大会のますますのご発展と、皆様のご活躍を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。



大阪府知事

橋下 徹

Toru Hashimoto

Governor,
Osaka Prefecture

PREVIEW

大阪インターナショナルチャレンジ2010 大会展望

第4回目を守口市民体育館で迎える「大阪インターナショナルチャレンジ2010」。

ナショナルチーム全員がエントリーした今大会には海外からは6カ国54人がやってくる。

2年後のロンドンオリンピックへ向け各国で世代交代が進む中、日本選手たちはどのようなプレーを見せてくれるのか。世界のトッププレーを間近で体感することの少ない西日本のバドミントンファンにとっては、この貴重な機会を堪能していただきたい。

では、各種目の注目選手にスポットを当てて紹介しよう。

●

まずは男子シングルス。昨年は韓国勢が4強を独占した。しかし今年の優勝候補は全日本総合で連覇を果たし、伝統の全英オープンで準優勝の快挙を達成した田児賢一（NTT東日本）だろう。昨年はエントリーしておらず、一昨年は準々決勝で不覚をとっただけに大阪のファンの前でその実力を見せてほしいところだ。対抗馬は全日本総合で田児を強烈なスマッシュを武器に瀬戸際まで追い込んだ佐々木翔（トナミ運輸）か。

●

一方、女子シングルスも全日本総合で4度目の優勝を連覇で飾った廣瀬栄理子（三洋電機）が2007年に続き今大会2度目となる優勝を狙う。これに対抗するのが昨年韓国選手と34センチの身長差をスピードで圧倒しチャンピオンに輝いた後藤愛（NTT東日本）だ。

若手では国際大会に強い佐藤冴香（日体大）の左腕からの威力のあるショットが見所だ。

男子ダブルスは、どのペアが勝っても不思議でない戦国時代の様相を呈するが、昨年2位の平田／橋本組（トナミ運輸）、同3位の数野／早川組（日本ユニシス）を軸に展開されそう。

昨年優勝の廣部好輝（日本ユニシス）もパートナーを遠藤大由（日本ユニシス）に変え上位をうかがう。

●

女子ダブルスは全日本総合初優勝、日本リーグMVPを獲得した松尾／内藤組（三洋電機）に期待だ。昨年は準々決勝で敗れているだけに地元大阪での頂点をつかみたいという気持ちは強いはずだ。

2人の手ごわい対戦相手となるのは直前のスイスOPで準優勝を飾るなど、国際大会に強い末綱／前田組（ルネサス SKY）か。

若手では昨年日本リーガーを撃破しチャンピオンとなった松友／高橋組（日本ユニシス）が連覇を狙う。今年から実業団入りした松友はシングルスでも上位進出をうかがう。

●

混合ダブルスは過去2年韓国、台北ペアにタイトルを奪われているが、今年は全日本総合優勝の平田（トナミ運輸）／前田（ルネサス SKY）組、全日本社会人を制した池田（日本ユニシス）／潮田（三洋電機）組が外国勢と熾烈な争いを繰り広げるだろう。池田の故障で全英OP、スイスOPをキャンセルしたイケシオの復帰第1戦にも注目だ。



BWF世界ランキング（3月18日付）

■男子シングルス

1	Chong Wei LEE	マレーシア
2	Dan LIN	中国
3	Taufik HIDAYAT	インドネシア
4	Jin CHEN	中国
5	Peter Hoeg GADE	デンマーク
6	Chunlai BAO	中国
7	Tien Minh NGUYEN	ベトナム
8	Boonsak PONSANA	タイ
9	Jan O JORGENSEN	デンマーク
10	Long CHEN	中国
15	田児　賢一	日本
38	佐々木　翔	日本
44	山田　和司	日本
72	古財　和輝	日本

■女子シングルス

1	Yihan WANG	中国
2	Lin WANG	中国
3	Xin WANG	中国
4	Yanjiao JIANG	中国
5	Saina NEHWAL	インド
6	Hongyan PI	フランス
7	Lan LU	中国
8	Mi ZHOU	香港
9	Shixian WANG	中国
10	Tine RASMUSSEN	デンマーク
14	廣瀬　栄理子	日本
20	後藤　愛	日本
27	佐藤　冴香	日本
33	樽野　恵	日本
39	平山　優	日本
64	今別府　香里	日本
70	打田　しづか	日本
74	関谷　真由	日本
98	脇田　侑	日本

■男子ダブルス

1	Kien Keat KOO / Boon Heong TAN	マレーシア
2	Markis KIDO / Hendra SETIAWAN	インドネシア
3	Jae Sung JUNG / Yong Dae LEE	韓国
4	Mathias BOE / Carsten MOGENSEN	デンマーク
5	Zhendong GUO / Chen XU	中国
6	Yun CAI / Haifeng FU	中国
7	Alvent Yulianto CHANDRA / Hendra Aprida GUNAWAN	インドネシア
8	Lars PAASKE / Jonas RASMUSSEN	デンマーク
9	Tan Fook CHOONG / Wan Wah LEE	マレーシア
10	Hung Ling CHEN / Yu Lang LIN	台北
17	橋本　博且 / 平田　典靖	日本
23	早川　賢一 / 数野　健太	日本
32	佐藤　翔治 / 川前　直樹	日本
61	廣部　好輝 / 遠藤　大由	日本
69	廣部　好輝 / 小宮山　元	日本

■女子ダブルス

1	Jing DU / Yang (F) YU	中国
2	Jin MA / Xiaoli WANG	中国
3	Cheng SHU / Yunlei ZHAO	中国
4	Eei Hui CHIN / Pei Tty WONG	マレーシア
5	Jung Eun HA / Min Jung KIM	韓国
6	藤井　瑞希 / 垣岩　令佳	日本
7	Wen Hsing CHENG / Yu Chin CHIEN	台北
8	Nitya Krishinda MAHESWARI / Greysia POLII	インドネシア
9	Valeria Sorokina / Nina Vislova	ロシア
10	Shendy Puspa IRAWATI / Meiliana JAUHARI	インドネシア
12	末綱　聡子 / 前田　美順	日本
17	松尾　静香 / 内藤　真実	日本
28	松友　美佐紀 / 髙橋　礼華	日本
35	脇田　侑 / 江藤　理恵	日本
55	三木　佑里子 / 米元　小春	日本

■混合ダブルス

1	Nova WIDIANTO / Liliyana NATSIR	インドネシア
2	Yong Dae LEE / Hyo Jung LEE	韓国
3	Bo ZHENG / Jin MA	中国
4	Hanbin HE / Yang (F) YU	中国
5	Hendra Aprida GUNAWAN / Vita MARISSA	インドネシア
6	Thomas LAYBOURN / Kamilla RYTTER JUHL	デンマーク
7	Robert MATEUSIAK / Nadiezda KOSTIUZYK	ポーランド
8	Joachim Fischer NIELSEN / Christinna PEDERSEN	デンマーク
9	Sudket PRAPAKAMOL / Saralee THOUNGTHONGKAM	タイ
10	DIJU V / Jwala GUTTA	インド
35	平田　典靖 / 前田　美順	日本
41	橋本　博且 / 藤井　瑞希	日本
50	池田　信太郎 / 潮田　玲子	日本
85	早川　賢一 / 松尾　静香	日本
95	数野　健太 / 垣岩　令佳	日本

先進の3PL（サードパーティ・ロジスティクス）を提案します。

TONAMI Logistics SOLUTION
トナミ ロジスティクス ソリューション

あらゆる物流ニーズに応えるチカラ
それが、トナミ ロジスティクス ソリューション

- コンサルティング機能　CONSULTING
- 情報システム機能　INFORMATION SYSTEM
- 業務運営機能　BUSINESS MANAGEMENT
- 物流ネットワーク機能　DISTRIBUTION NETWORK

TONAMI

PANTHER

トナミ運輸株式会社

http://www.tonami.co.jp



Babolat™

www.babolat.jp/badminton

〔日本総発売元〕株式会社ダンロップスポーツ

●東京本社／03-5463-7324 ●北日本支店／022-231-0105 ●北日本支店北海道連絡所／011-863-6601 ●大阪本社／06-6392-8500 ●名古屋営業所／052-332-0532 ●福岡営業所／092-441-0251

〔輸入元〕SRIスポーツ株式会社



独占放送！

大阪インターナショナルチャレンジ 2010

日本選手を中心に準決勝・決勝を含め放送

4月12日 月 16:00 ～ 23:00［J sports ESPN］

4月24日 土 9:00 ～ 13:00［J sports ESPN］再

4月25日 日 9:00 ～ 12:00［J sports ESPN］再

放送日時・内容は変更になる可能性があります。
最新スケジュールは ▶ http://www.jsports.co.jp

国内開催主要大会を中心に放送

バドミントン見るなら J SPORTS



2010 年主な放送予定

▶ **大阪インターナショナルチャレンジ**

▶ **世界選手権**（予定）
日本選手を中心に、決勝 5 種目を含め放送

▶ **YONEX OPEN JAPAN**
日本選手を中心に、準決勝・決勝を含め放送

▶ **日本リーグ 2010**
団体戦／注目カード
最終戦を含む複数大会放送

HPで情報もGet！

http://www.jsports.co.jp/tv/bad/

J SPORTS の放送情報、陣内貴美子さんのブログや、
選手インタビューなど HP でチェック！
4月よりメールで番組情報やお得な情報が届く
J SPORTS バドミントンファン会員募集（無料）も始まります。



J SPORTSはスカパー!、スカパー! e2、CATVでご覧いただける国内最大のスポーツ専門TV局です。
番組問い合わせ：J SPORTS カスタマーセンター 03-5500-3488（10：00 ～ 18：00）
http://www.jsports.co.jp/

J SPORTS

スカパー!e2で見る

デジタルテレビで今スグ見られる！電話1本で16日間無料!

○専用アンテナがない場合など、一部視聴できない可能性があります。○既に、ご加入および本サービスをご利用頂いたお客様は対象外です。

0120-127-234 スカパー!e2

受付時間 10:00～20:00（年中無休）おかけ間違いのないように。
お電話の際は「J SPORTS バドミントン広告を見ました」とお伝えください。

※個人情報の取扱い規定につきましては、プライバシーポリシー（http://www.e2sptv.jp/privacypolicy/）に同意の上、お申込みください。

CATVで見る

お近くのケーブルテレビ局にお問合せ下さい

J SPORTS CATV視聴 検索

※ご覧いただけるJ SPORTSのチャンネルはケーブルテレビ局により異なります。

XD Mixed Doubles

池田信太郎&潮田玲子

IKEDA Shintaro & SHIOTA Reiko

昨年新たに結成した注目のペア。新ペアのため世界ランキングが低く海外では苦しい戦いが続いたがオランダオープンで3位入賞。国内では09年全日本社会人で平田／前田組を下し初優勝を達成したが、全日本総合ではリベンジされ2位に終わる。池田選手が日本リーグで骨折するアクシデントを乗り越え今大会では国際大会初優勝を狙う。

【いけだ・しんたろう】(写真左)
80年12月27日生(29歳)175cm、68kg
右利き/日本ユニシス/福岡県出身
岡垣中～九州国際大付高～筑波大学
【しおた・れいこ】
83年9月30日生(26歳)166cm、57kg
右利き/三洋電機/福岡県出身
新津中～九州国際大付高

'09 オランダオープン3位
全日本社会人優勝
全日本総合2位

注目選手 CLOSE UP

XD Mixed Doubles

平田典靖&前田美順

HIRATA Noriyasu & MAEDA Miyuki

舛田／前田組で全日本総合4連覇達成後に舛田選手が引退したため、平田選手と昨年新たにペアを結成し初優勝。前田選手はこの種目5連覇を達成。社会人大会では池田／潮田組に敗れたが、混合ダブルスの第1人者として君臨していきたいはずだ。

【ひらた・のりやす】(写真左)
83年11月17日生(26歳)180cm、74kg
右利き/トナミ運輸/富山県出身
利賀中～高岡工芸高～日体大
【まえだ・みゆき】
85年10月14日生(24歳)169cm、62kg
右利き/ルネサス SKY/鹿児島県出身
国分中～熊本中央高

'09 アジア選手権3位
全日本社会人2位
全日本総合優勝





MS Men's Singles

田児賢一

TAGO Kenichi

ネット前の多彩なショットでジュニア時代から世界のトップに位置する。08年のYOJでは3位入賞、総合では史上最年少で連覇。今年は100回記念となる全英OPで日本人選手として44年ぶりとなる準優勝を飾った。フィジカルもアップした今回は優勝候補の筆頭。

【たご・けんいち】
89年7月16日生(20歳)174cm、68kg
右利き/NTT東日本/埼玉県出身
埼玉栄中～埼玉栄高
'06　アジアジュニア優勝
'07　世界ジュニア選手権2位
'08　インドネシアOP3位
　　ヨネックスOPジャパン3位
'08、'09　全日本総合優勝
'09　世界選手権16強
　　香港OP3位
'10　全英OP準優勝





WS Women's Singles

廣瀬栄理子

HIROSE Eriko

全日本総合4度の優勝、全英OP3位などを誇る日本女子シングルスの第一人者。07年のフィリピンOPで痛めた足の怪我も回復し、08年のYOJではこの種目8年ぶりの3位入賞を果たす。地元大阪で3年ぶりの優勝を狙う。

【ひろせ・えりこ】
85年3月16日生(25歳)163cm、54kg
右利き/三洋電機/兵庫県出身
中谷中～青森山田高
'04、'06、'08、'09　全日本総合優勝
'04　インドネシアOP2位
'05　ドイツOP3位、全英OP3位
'07　マレーシアOP3位
　　シンガポールOP3位
'08　北京オリンピック16強
'09　ヨネックスOPジャパン3位
'10　マレーシアOP3位



WD Women's Doubles

松尾静香&内藤真実

MATSO Sizuka & NAITO Mami

同学年でオランダジュニア優勝後に松尾は三洋電機へ入社、内藤は日体大へ進み昨年から再びペアを組んだ二人。全日本総合では初優勝を狙うスエマエ組を下し、オグシオ後のトップダブルスに躍り出た。小柄ながらテクニシャンでレシーブの固い松尾と、大柄でサウスポーの内藤という対照的なペア。地元大阪で頂点を狙う。

【まつお・しずか】(写真左)
86年11月24日生(23歳)157cm
右利き/三洋電機/大阪府出身
瓜破西中～此花学院高
【ないとう・まみ】
86年12月25日生(23歳)172cm
左利き/三洋電機/神奈川県出身
串川中～元石川高～日体大

'05　オランダジュニア優勝
'09　オーストリア国際優勝
　　日本ランキングサーキット優勝
　　全日本総合優勝



WD Women's Doubles

末綱聡子&前田美順

SUETSUNA Satoko & MAEDA Miyuki

冷静にゲームメイクする末綱、パワーに加えネット周りのプレーも充実してきた前田。09年ヨネックスオープンジャパンでは準優勝に輝く。多彩なレシーブ力を発揮し国際大会に強いスエマエがオールジャパンの屈辱を晴らすべく初優勝を狙う。

【すえつな・さとこ】(写真右)
81年1月30日生(29歳)167cm、59kg
右利き/ルネサス SKY/大分県出身
城東中～昭和女子高
【まえだ・みゆき】
85年10月14日生(24歳)169cm、62kg
右利き/ルネサス SKY/鹿児島県出身
国分中～熊本中央高

'07　US OP優勝
'07、'08、'09　全日本総合2位
'08　ドイツOP2位
　　アジア選手権2位
　　インドネシアOP2位
　　北京五輪4位
　　ヨネックスOPジャパン3位
'09　全日本社会人優勝
　　ヨネックスOPジャパン2位

MD Men's Doubles

平田典靖&橋本博且

HIRATA Noriyasu & HASHIMOTO Hirokatsu

昨年から日本代表として新たにペアを組んだ二人。昨年のランキングサーキットで優勝、ヨネックスOPジャパンでは準々決勝で元世界王者のトニー／ハワード組から1ゲームを奪いベスト8に入るなど、ともに長身からのアタックが魅力。

【ひらた・のりやす】(写真右)
83年11月17日生(26歳)180cm　74kg
右利き/トナミ運輸/富山県出身
利賀中～高岡工芸高～日体大
【はしもと・ひろかつ】
85年12月18日生(24歳)178cm　71kg
右利き/トナミ運輸/熊本県出身
三和中～八代東高～日体大

'09　日本ランキングサーキット優勝
　　ヨネックスOPジャパン 8強



MD Men's Doubles

数野健太&早川賢一

KAZUNO Kenta & HAYAKAWA Kenichi

小中高大と同じチームを選び、日大からペアを組み始めた2人は実業団でも同じチームでコンビに磨きをかける。全日本総合での優勝はないものの、昨年のヨネックスOPジャパンではアジア王者のクー／タン組を破るなど成長を見せる。日本男子勢の次代エースとして今大会は頂点を狙う。

【かずの・けんた】(写真左)
85年11月25日生(24歳)170cm、65kg
右利き/日本ユニシス/滋賀県出身
日吉中～比叡山高～日本大
【はやかわ・けんいち】
86年4月5日生(24歳)177cm、79kg
右利き/日本ユニシス/滋賀県出身
日吉中～比叡山高～日本大

'06、'07　インカレ優勝
'08　日本ランキングサーキット優勝
　　全日本総合 2位
'09　ドイツOP 2位
　　スイスOP 8強
　　全日本社会人優勝

注目選手
CLOSE UP



WD Women's Doubles

高橋礼華&松友美佐紀

TAKAHASHI Ayaka & MATSUTOMO Misaki

松友がネット前で巧みなラケットさばきを見せ、高橋が強打を放つパターンで08年高校生ペアで全日本総合3位入賞。昨年のこの大会ではナショナルメンバーを撃破して頂点に上り詰めた。今年は社会人ペアとして連覇を狙う。松友はシングルスでも上位進出が期待される。

【たかはし・あやか】(写真右)
90年4月19日生(18歳)164cm、57kg
右利き/日本ユニシス/奈良県出身
聖ウルスラ学院中～聖ウルスラ学院高
'08　インターハイ複優勝
　　ワイカト国際単複優勝
　　全日本総合複3位
'09　大阪国際複優勝、混合複3位
　　ベルギー国際複優勝
【まつとも・みさき】
92年2月8日生(18歳)158cm、51kg
右利き/日本ユニシス/徳島県出身
徳島中～聖ウルスラ学院高
'08　インターハイ単複優勝
　　全日本総合複3位
'09　大阪国際複優勝
　　ベルギー国際複優勝、単2位
　　全日本総合単3位

WD Women's Doubles

藤井瑞希&垣岩令佳

FUJII Mizuki & KAKIIWA Reika

日本ランキング3位の若手ペア。クレバーで多くのテクニックを持つ藤井と豪快なジャンプスマッシュが武器の垣岩。世界ランキング上位ペアと互角に戦うなど海外でも結果を残しはじめ、2010年スーパーシリーズの韓国オープンでは準優勝に輝いた。

【ふじい・みずき】(写真右)
88年8月5日生(21歳)160cm、60kg
右利き/ルネサス SKY/熊本県出身
湯浦中～青森山田高
'05　インターハイ単優勝
'06　アジアジュニア複3位
　　インターハイ単・複優勝
'08　カナダ国際複優勝
'09　大阪国際複3位
'10　韓国OP複2位
【かきいわ・れいか】
89年7月19日生(20歳)166cm
右利き/ルネサス SKY/滋賀県出身
日吉中～青森山田高
'06　インターハイ複優勝
'08　カナダ国際複優勝
'09　大阪国際複3位
'10　韓国OP複2位



スポーツ分野で、活躍したい

健康・スポーツ関連資格の取得で、あなたの夢をバックアップ!!

アスリートに信頼される、スポーツトレーナーへの一歩!

今や医療現場のみならず、スポーツ界においても「鍼灸師」「柔道整復師」の活躍の場は広がっています。怪我の治療はもちろん、日々のメンテナンスまでを担う医療資格を持つスポーツトレーナーは、選手達にとって何よりも信頼できる存在です。
そんな「身体のプロフェッショナル」を育てる明治国際医療大学で、あなたも夢をつかんでみませんか。

はり師・きゅう師 国家資格（受験資格）

柔道整復師 国家資格（受験資格）

＋

取得できる健康・スポーツ関連資格

- **アスレチックトレーナー[JATAC]**
- **スポーツプログラマー**（受験資格）
- **ジュニアスポーツ指導員**（受験資格）
- **健康運動実践指導者**（受験資格）

2010年4月スタート 東海道沿線からの通学時間が短縮

明治国際医療大学に「直行バス」運行

JR桂川駅 ← 阪急桂駅 / 京都エミナース ― 約45分 → 明治国際医療大学

キャンパス内にある附属病院



東西医学の「補完と融合」を実践する画期的な医療機関で、医師との連携、医療人としての意識を学ぶ最良の環境が整っています。

OPEN CAMPUS 2010

6/20★SUN	7/18★SUN	8/7★SAT
8/8★SUN	8/22★SUN	9/26★SUN

看護学部[看護学科]開設

本学ならではの東洋医学のエッセンスを取り入れた新しい看護学教育を展開します。

見つめる先は、人のすべて

明治国際医療大学

2008年4月 明治鍼灸大学から改称

www.meiji-u.ac.jp

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1181 交通／JR京都駅より山陰本線「鍼灸大学前」駅下車すぐ

鍼灸学部[鍼灸学科]
保健医療学部[柔道整復学科]
看護学部[看護学科]
大学院[鍼灸学研究科]

携帯サイトはこちら!



ARCSABER Z-SLASH

アークセイバー Z(ジー)-スラッシュ ARC-ZS
¥26,250(本体価格¥25,000) 日本製

NANOSCIENCE CS CARBON NANOTUBE

www.yonex.co.jp



衝撃のスマッシュ。

421km/hの初速を記録※

近年、高速化が著しいバドミントンの世界において、
最速スマッシュスピードの実現を目的に開発された
フラッグシップモデル。世界トップ選手によるテストでは、
遂に400km/hを超える記録を叩き出した。
シャフトをよりスリムに、フレーム面もギリギリまで絞
った、いわば体脂肪ゼロのアスリートのようなラケット。
プレイヤーのポテンシャルを限界まで引き出す
アークセイバー Z(ジー)-スラッシュ。
この衝撃のスマッシュを体感して欲しい。

※(株)ナックイメージテクノロジー計測値

YONEX®

注目選手
CLOSE UP



WS Women's Singles

平山優

HIRAYAMA Yu

積極的に攻撃を仕掛けるファイター。クリヤーやカットからリズムを作り得意のパターンに持ち込む。09年オールジャパンではナショナルチームから外れ海外をまわり蓄積してきた力を発揮し6年ぶりの準優勝。再びナショナルチーム入りした今年に賭ける気持ちは強いはずだ。

【ひらやま・ゆう】
85年7月25日生(24歳)163cm、57kg
右利き/日本ユニシス/宮城県出身
聖ウルスラ学院中～聖ウルスラ学院高
'03、'09　全日本総合2位
'07　日本ランキングサーキット優勝
'09　スウェーデン国際優勝
'09　全日本社会人2位



WS Women's Singles

後藤愛

GOTO Ai

昨年の決勝で身長差34センチをものともせずスピードで勝り国際大会初優勝。持ち前の粘りと巧みな配球に攻撃力も加わり、昨年の世界選手権では実力者のウォン(マレーシア)を下している。今大会は連覇を狙う。

【ごとう・あい】
83年10月20日生(26歳)152cm、50kg
右利き/NTT東日本/岐阜県出身
岐南中～県岐阜商高～東海女子大
'06　フィリピンOP 3位
　　全日本社会人優勝
'07　全日本総合2位
'08　日本ランキングサーキット優勝
'09　大阪インターナショナルチャレンジ優勝
　　全日本社会人優勝



WS Women's Singles

佐藤冴香

SATO Sayaka

08年の世界ジュニアで日本女子史上初の準優勝という快挙を達成。ニュージーランドOP優勝、台北OP3位など海外で成績を残す。長身のサウスポーからからの迫力あるスマッシュは世界トップレベルにあり大阪で国際大会2勝目をめざす。

【さとう・さやか】
91年3月29日生(19歳)170cm
左利き/日本体育大/宮城県出身
仙台第一中～常盤木学園高
'08　インターハイ2位
　　世界ジュニア2位
'09　ニュージーランドOP優勝
　　台北OP3位
　　インカレ優勝



MS Men's Singles

佐々木翔

SASAKI Sho

シングルスにこだわる27歳のベテラン。同年代の佐藤翔治の影に隠れた2番手の存在だったが、07年総合で佐藤選手を下し初優勝。昨シーズンより北都銀行からトナミ運輸に移籍し、今大会は07年に続き2度目の優勝を狙う。

【ささき・しょう】
82年6月30日生(27歳)171cm、69kg
左利き/トナミ運輸/北海道出身
上磯中～関東一高～東京富士短大～MMGアローズ～北都銀行
'03、'05　全日本総合2位
'05～'09　日本ランキングサーキット優勝
'07　大阪インターナショナルチャレンジ優勝
　　全日本総合優勝
'09　全英OP8強
　　全日本総合2位



MS Men's Singles

山田和司

YAMADA Kazushi

インターハイダブルスで優勝するなど高校まではシングルスでの戦績はなかったが、08年のインカレでシングルス優勝。日本ユニシス入社後は持ち前の俊敏さで全日本社会人8強、全日本総合4強と着実に結果を残し始めている。

【やまだ・かずし】
87年2月21日生(23歳)168cm、60kg
右利き/日本ユニシス/愛媛県出身
角野中～小松原高～日体大
'04　インターハイ複優勝
'08　インカレ単優勝
　　全日本総合8強
'09　全日本総合4強



MS Men's Singles

早崎修平

HAYASAKI Syuhei

ネット前でのプレーに自信を持ち、あきらめず全力を出し切るプレーは好感がもてる。内定選手として出場した日本リーグ2009では実績のある竹村選手を破るなどシングルスで4勝をあげた。2010年ナショナルチームに選ばれた注目株だ。

【はやさき・しゅうへい】
87年8月26日生(22歳)178cm、68kg
右利き/日立情報通信エンジニアリング/愛媛県出身
新居浜東中～比叡山高～日本大
'02　全中単2位
'04　インターハイ単複2位
　　選抜複優勝
'05　インカレ複3位
'09　インカレ単優勝



MD Men's Doubles

佐藤翔治&川前直樹

SATO Shoji & KAWAMAE Naoki

昨年から新たにペアを組みダブルスにかけてきた二人。国内では優勝にたどり着いていないが、海外ではカナダ国際で優勝、世界選手権ではベスト16に入るなど好成績は残している。優勝をねらう実力は十分だ。

【さとう・しょうじ】(写真左)
82年9月19日生(27歳)168cm、60kg
右利き/NTT東日本/東京都出身
上水中～関東一高～東京富士短大～MMGアローズ
'03～'06　全日本総合単優勝
'04　アテネ五輪単出場
'05～'07　全英OP単8強
'08　北京五輪単16強
'09　世界選手権複16強
全日本社会人単優勝
【かわまえ・なおき】
82年11月6日生(27歳)168cm　60kg
右利き/NTT東日本/奈良県出身
二名中～柏原高～日本大
'02～'04　インカレ複優勝
'06　全日本総合複2位
'07　全日本総合複優勝
'09　世界選手権複16強

MD Men's Doubles

廣部好輝&遠藤大由

HIROBE Yoshiteru & ENDO Hiroyuki

昨年まではそれぞれ別のパートナーと組んでいたが、日本代表に選出され今年から新たにペアを組んだ二人。ペアとしてまだ大きな成果は残していないが、昨年のこの大会で小宮山選手とのペアで優勝した廣部選手は連覇を狙う。

【ひろべ・よしてる】(写真左)
82年8月8日生(27歳)178cm、65kg
右利き/日本ユニシス/福井県出身
進明中～藤島高～中央大
'05　全日本総合複8強
'08、'09　全日本社会人複優勝
　全日本総合混合複2位
'09　大阪国際複優勝
　オーストラリア国際複2位
　全日本社会人複2位
【えんどう・ひろゆき】
86年12月16日生(23歳)171cm、72kg
右利き/日本ユニシス/埼玉県出身
里中～小松原高～日体大
'06　インカレ単優勝
'07　カナダ国際単3位
'08　大阪国際複3位
　ベトナム国際複3位
'09　全日本社会人複3位







Badminton
バドミントン・マガジン MAGAZINE

競技バドミントンの本質に迫る唯一の専門誌

毎月確実にお手元へお届けする定期購読をどうぞ

［定期購読料金］※送料小社負担

1年間12冊▶9,600円（税込）

※半年定期購読は初回のみお申し込みいただけます。購読終了後の継続手続きでは、年間定期購読のみご利用いただけます。

■電話でのご注文　TEL 0120 - 413490

■FAXでのご注文　FAX 0120 - 594134

■ホームページでのご注文　http://www.sportsclick.jp/subscribe.html

毎月22日発売
B5判／定価800円（税込）

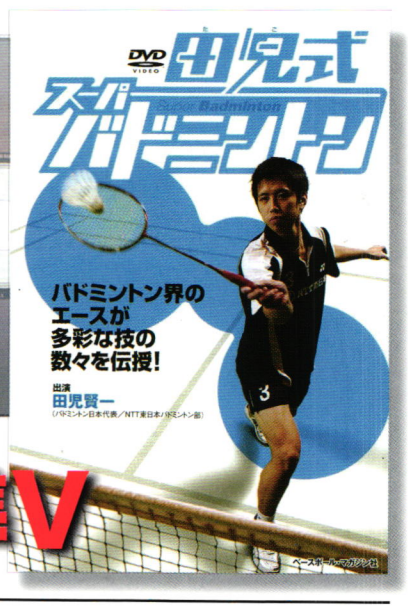
好評発売中！ベースボール・マガジン社の

バドミントン関連書籍、ムック、DVD！

田児式 スーパーバドミントン

大好評書籍がDVDに！

日本バドミントン界のエース、田児賢一選手が、その特長である多彩な技の数々を伝授。ショットに応じて複数の打ち方を紹介します。ネット前のショットをはじめ、相手を惑わすショット、フェイントのコツが映像で明らかに。田児式スーパーバドミントンにぜひ皆さんもトライしてみてください。



DVD86分
監修：田児賢一、町田文彦
価格4,200円（税込）



書籍判 大好評につき 増刷！

史上最年少王者が幻惑ショットを初公開！

相手の足を止める多彩なテクニックを日本バドミントン界の逸材が明かす、これまでにないレッスンブック！

定価1,470円（税込）　A5判／176頁

祝・全英準V

■MOOK

バドミントン 初心者クリニック

町田文彦著

元全日本王者がお悩みを解決します！　基本ストローク、フットワーク、戦術、練習法など、ビギナーが知りたい上達のコツが満載！

定価1,200円（税込）



■書籍

ぐんぐんうまくなる！ バドミントン

名倉康弘著

基礎技術の習得は「急がば回れ」。焦らず、丁寧に、そして正確に。初心者、初級者のためのわかりやすいビジュアル解説！

定価1,260円（税込）　A5判／184頁



■DVD

見てうまくなる バドミントン教本

構成・解説・指導◎飯野佳孝、廣田　彰
技術指導◎飯野裕子

（財）日本バドミントン協会公認テキスト「バドミントン教本・基本編と応用編」の中から、戦法・技術・練習・トレーニングをわかりやすく映像化。

価格4,200円（税込）　DVD155分



■MOOK

バドミントン道場

すべてのダブルスプレーヤーに捧ぐ！

解説◎岩田良子
協力◎ヨネックスバドミントン部

シドニー五輪代表の技が満載！！　岩田良子ヨネックス監督が送るダブルス秘伝テクニック！

定価1,200円（税込）



お申し込み、ご注文はお近くの書店、またはベースボール・マガジン社受注センターまで

ベースボール・マガジン社
受注センター ☎025-780-1231

bookcart 検索



HIGHLIGHT 2009

4/1 大会1日目

今年で3回目を迎える2009大阪インターナショナルチャレンジバドミントン選手権大会が守口市民体育館で熱戦の火ぶたを切った。今回は9カ国156名の選手が次代のエースの座を目指し戦いを繰り広げる。

大会初日の今日は男女シングルスの予選が行われた。男女シングルスでは昨年のこの大会で3位に入る活躍をみせた山口公浩(NTT東日本)が全日本ジュニアダブルスチャンピオンの星野翔平(埼玉栄高校)と対戦した。第1ゲームは巧みにコーナーに配球する山口に対し星野は積極的にスマッシュ、ドライブ攻撃を仕掛け中盤までは1点を争う展開となった。13−12と山口がリードすると星野の甘いレシーブをスマッシュで力強く決めるなど連続6ポイントをあげ21−14で奪った。

第2ゲームは星野が常にリードする展開となった。山口は「自分の弱点はミスが多くなるとあせって失点を重ねてしまう。」と反省するように、徐々に点差を広げられ星野が16−11とする。しかし、山口はここからミスの無い落ち着いたプレーで連続5ポイントをあげ一旦は16−16と同点に追いつく。星野もドライブの打ちあいからうまくネット前に落し再びリードすると、山口の苦しまぎれのカットのコースを読みヘアピンを決めて18−16と再び突き放す。「近畿大学が母校なのでここはホームのようなもの。気持ちよく戦える。」と話す山口は星野にゲームポイントをにぎられながらも追い付き、最後は長いラリーの応酬からカットスマッシュを決めて23−21とストレートで破り勝ち上がった。山口は、チームメイトの全日本チャンピオンの田児賢一(NTT 東日本)のプレーについて「見ているだけで勉強になる。時間が取れるときには自分なりに練習を積んでいる。身長の高さを活かして決めて行きたい。」と抱負を語った。

女子シングルスではベテラン勢が若手の挑戦を受ける戦いが見られた。幡谷好美(ルネサス SKY)が全日本ジュニアナショナルの新玉美郷(名古屋経済大学市邨高校3年)と、三好奈緒(北都銀行)は'08高校選抜チャンピオシングルスの三谷美奈津(金沢向陽高校3年)と対戦した。幡谷は21−6、21−11と危なげない戦いで相手を寄せ付けず完勝したのに対し、三好はファイナルゲームにもつれこむ苦戦をしいられた。「ここで負けたら故郷に帰らないといけない。何とか予選は勝ち上がりたい。」と強い気持ちがプレッシャーになったと反省する三好は、14−13と1点リードしてからしつように三谷のバック奥へのドリブンクリアーで追い込みポイントを重ね19−15と点差を広げる。しかし三谷は、この攻めに対して素早い動きでストレートスマッシュを決めるなどしてじりじりと追い上げ20−19の1点差まで詰め寄った。しかし、最後は三谷のネット前からのロブがサイドアウトとなり16−21、21−11、21−19の2−1で三好が逃げ切った。苦戦をしいられた三好は「年齢的に1年1年が勝負。国際大会で結果を残したいしこの大会はチャンスもある。あとは気持ちの問題なので初心にかえりしっかり戦いたい。」と話した。

明日からは、いよいよ本戦がスタートする。バドミントンファンにとっては世界のトッププレーを見る絶好のチャンス。大阪守口から誕生する次代のエースを是非見に来てほしい。

4/2 大会2日目

【混合ダブルス】

昨年の全日本総合で3位になった堂本克樹／藤原由衣(三洋電機コンシューマエレクトロニクス)はキム・デユン／イン・ヘウォン(韓国)と対戦した。

初めての国際大会出場で"やはり緊張しました"と振り返った堂本／藤原は第1ゲーム序盤は動きが固く、ミスが目立ちなかなか自分たちのペースに持ち込めず苦しい展開となった。11−14とされた場面でイン・ヘウォンのサービスフォルトで点数を加え流れを引き寄せたかに思われたが、再び韓国ペアに14−17と突きはなされてしまう。しかし、キム・デユンが2本連続してスマッシュをミスし、藤原がプッシュを決めるなどして連続4ポイントをあげ18−17と一旦は逆転した。しかし、韓国ペアは積極的に攻撃し、イン・ヘウォンがネット前の浮き球を3本連続してプッシュで決めて18−20と追い込んだ。ここから粘りを見せた堂本／藤原はネット前のプッシュ、堂本のドライブ、スマッシュとリズム良く点数を加えると、最後はキム・デユンのレシーブが甘くなったところを堂本がスマッシュで決めて23−21と苦しみながらもこのゲームを奪った。

第2ゲームにはいると"リラックスできた"(堂本)"試合を楽しめた"(藤原)とコンビネーションよく攻め、守りでも後衛から攻めるキム・デユンを巧みに左右に揺さぶりミスを誘うなどして優位に試合を進めていく。点差こそつまったものの、慌てることなく20−18とマッチポイントをにぎると最後は堂本が豪快にジャンピングスマッシュを決めてストレートで2回戦に駒を進めた。

2回戦は小宮山元(日本ユニシス)／藤井瑞希(ルネサス SKY)のダブルス巧者との戦いになるが"思いっきりプレーしたい"(堂本)"明日もがんばる"(藤原)と2人は明るく話してくれた。

【男子シングルス】

3月の全英オープンでベスト8に入った佐々木翔(トナミ運輸)はホ・ケックモン(マレーシア)と対戦した。昨年の全日本総合では準決勝で佐藤翔治に敗れたものの、所属が北都銀行→トナミ運輸に変わり、心機一転。この大会2度目の優勝を目指す戦いぶりが注目された。

第一ゲーム、ホ・ケックモンにいきなり3点先行されてしまうが、レシーブが安定し、長いラリーにも慌てることなくコートを広く大きく使い、要所では角度のある強烈なスマッシュを決めていく。"冷静に力まずにできた"と振り返った佐々木は11−7から連続10ポイントをあげて21−7で奪った。第2ゲームも相手につけ入るすきを与えず余裕の試合のはこびで21−11で完勝し、2回戦に進んだ。試合後佐々木は"周りの注目をプレッシャーにせず良い方向に持っていきたい。今大会は誰にでもチャンスがある。全英ベスト8で注目される立場になり、プレーも研究されてきているが、チャンスをいかせるようがんばりたい。見ている人に楽しんでもらいたい。"と意気込みを語った。

【女子シングルス】

昨年のこの大会で準優勝し今年から新しく日本代表メンバーとなった関谷真由(三洋電機)は中国のワン・ロンと対戦した。関谷の持ち味は長い手足を生かした攻撃力。しかし、今日の関谷は自分のプレーをすることが出来ない。

第1ゲーム、クリアー、スマッシュ、ヘアピンのシャトルコントロールがままならず、ミスが続いてしまう。11−17の場面では、ワン・ロンがフォア前に落とすと見せかけて、フォア奥にはこばれる。これを関谷はネット前に返球するのが精一杯で打ち込まれると、粘りを見せることが出来ず、そのまま11−21で奪われてしまう。

第2ゲームに入っても、なかなか調子が上がらず、関谷のポイントはワン・ロンのミスによるものがほとんどで、攻撃力は影をひそめてしまう。6−10とされて、ワン・ロンの返球がネット前に甘く浮いたにもかかわらず、関谷はこれをネットにかけてしまうなど精彩が見られない。時折リズムが良くなり、得点を加えるものの、連続で失点することが多く、なかなか点差をつめることができない。11−20とマッチポイントをにぎられるとワン・ロンのフォア奥からのリバースカットに全く対応できず11−21で失い敗退した。

敗れた関谷は、"相手のショットは良かったけど、自分のやりたいことが出来ず、悔いの残る試合だった"と悔やんだが、今後については"レベルの高い三洋チームの中でいろいろなプレーを覚えて、自信をもってやっていきたい。海外でもひとつでも多く勝てるように頑張る"と気持ちを前向きにしていた。

【男子ダブルス】

ペア結成して間もないながら昨年の社会人で優勝し全日本総合でも3位に入るなど力をつけてきた廣部好輝／小宮山元(日本ユニシス)はロ・ロコッケイ／ワン・ワイホン(ホンコンチャイナ)と対戦した。廣部が前に詰め小宮山がスマッシュを決める攻撃パターンで試合を優位に進めていく。

第1ゲーム 15−13と詰め寄られるものの小宮山の強烈なスマッシュ、廣部の巧みなネット前のプレーで点数を加えるとロ・コッケイが連続してレシーブを失敗し連続5ポイントをあげる。最後は小宮山がバックハンドスマッシュを鮮やかに決めて21−13で奪った。

第2ゲームに入っても相手を圧倒する攻撃力で全く寄せ付けず21−8のストレートで勝ちあがった。小宮山は試合後"廣部が前に出てくれるのでおもいっきりスマッシュを打つことができた。明日は館田真哉／山下洋平(日立情報通信エンジニアリング)との対戦になるが、負けることはできないので頑張りたい"と抱負を語った。



【女子ダブルス】

幡谷好美／前田美順（ルネサス SKY）と赤尾亜希／今別府靖代（ヨネックス）の対戦は大接戦となった。前田はペアを変えて、赤尾も長年のペア松田の引退で今別府とのペアでこの大会に臨んだ。

第1ゲームはお互いに一歩も譲らぬ1点を争う緊迫したゲームとなった。幡谷にシャトルを集める赤尾／今別府に対して、必死にレシーブでしのぎチャンスを待つ幡谷／前田。抜け出したのは赤尾／今別府。17−16から幡谷のスマッシュレシーブミスで点差を広げると今別府、赤尾がそれぞれネット前でプッシュを決めてゲームポイントをにぎると今別府のスマッシュをレシーブした幡谷のシャトルはネットを越えず21−17で赤尾／今別府がものにした。

第2ゲームも上がってきたらスマッシュ、ドライブで攻撃する赤尾／今別府が主導権をにぎり16−12と引き離す。しかし粘る幡谷／前田は前田のスマッシュなどで連続3ポイントをあげ1点差まで詰め寄った。ここで幡谷のサーブはネットにかかりまたしても流れは赤尾／今別府へと傾き20−18とした。後がなくなった幡谷／前田だが、前田のスマッシュに赤尾のレシーブが甘くなったところを幡谷が決めると、今別府のネット前からのロブがネットにかかりついに20−20の同点に追いついた。こうなると幡谷／前田が先にポイントを奪う展開となり24−22で1−1とした。ファイナルゲーム前半は幡谷／前田がカットを多用するようになり4−4から連続6ポイントをあげてリードする。赤尾／今別府は積極的に攻撃するが幡谷／前田はしっかりとしたレシーブでこれに対応し点差はなかなか縮まらない。後半に入ると今別府にミスが目立ち始め20−12と幡谷／前田がマッチポイントをにぎると最後は赤尾のドライブがバックアウトとなり幡谷／前田が2回戦に駒を進めた。

4/3 大会3日目

【混合ダブルス】

準々決勝では橋本博且（トナミ運輸）／内藤真実（三洋電機）はマニーポン・ジャングジット／ロジャナ・チュタブンディックル（タイ）と対戦した。橋本／内藤はともに新しく日本代表に加わったメンバーでペアを組むのは初めて。

第1ゲーム序盤はマニーポン・ジャングジットの強打に苦しめられ、リードを許してしまう。「サーブまわりの処理がうまく出来ればいいラリーが続く」と橋本が話すように、内藤が前衛でさばき橋本が打ち込むスタイルに持っていいけるようになり、終盤ようやく19−19の同点に追いついた。ここでマニーポン・ジャングジットのスマッシュを内藤がレシーブできずリードされるが、橋本がうまくネット前に落として再び同点とすると、橋本のスマッシュとサーブプッシュで22−20で奪った。

第2ゲームは2−2から4連続ポイントをあげた橋本／内藤がリードを許さず優位に試合を進めていく。長身をいかした内藤のネット前でのプレーに橋本もチャンス球を確実にスマッシュを決め点差を広げていく。20−12でマッチポイントをにぎると、ロジャナ・チュタブンディックルのドライブがネットにかかり21−12のストレートでベスト4に進出した。

内藤は「男性に打たれるとさがってしまう。自信を持って前に出てレシーブしなくてはいけない」と反省したが、「最後の部分では少しできたかな」と満足そうだった。



【男子シングルス】

準々決勝で竹村純（JR北海道）はキム・サラン（韓国）と対戦した。

「日本代表メンバーからはずれて気持ちが楽になった」と話す竹村は、2回戦では第4シードのタイの選手をストレートでくだし、日本人選手としてただひとりベスト8に勝ち上がってきた。対する韓国のキム・サランは1回戦で昨年のこの大会で優勝した佐伯浩一を破り勢いにのっている。

第1ゲーム、竹村はていねいにシャトルをつなぎミスの少ないプレーで得点を重ねていく。前半で6点リードした竹村は追いつかれることなく、要所ではキム・サランのスマッシュを巧みにかわして19−14とした。しかし勝ちを意識したのか、3本連続してミスをして2点差までつめよられてしまう。しかしキム・サランのドライブミスでゲームポイントをにぎると、サーブリターンのコースを読みクロススマッシュを決めて21−17で奪った。

第2ゲームにはキム・サランがクロスカットを有効に使い、竹村の体勢をくずして連続6ポイントをあげ7−2とリードする。「第1ゲーム取ったので行けるかな」と思った竹村は、スマッシュミスで点数をもらうと、ドライブ戦を制するなどして一気に5連続ポイントを奪い7−7の同点とする。「途中で無理に打ちに行ってしまった」と反省した竹村はこの後徐々に点差を広げられてしまい、15−19となった場面ではサーブミスでキム・サランにゲームポイントをにぎられてしまった。竹村もクロススマッシュで1点を返すが最後はドライブをきりかえそうとした球がサイドアウトとなり16−21で失った。

ファイナルゲームは完全にキム・サランのペース。「相手にパワーがあるのでカウンターを狙っていたが、流れを止めることが出来なかった」竹村は一気に7点を奪われ劣勢となった。この後もクロスカットに苦しめられ思うような攻めが出来ず13−21で敗れた。

【女子シングルス】

昨年11月の世界ジュニアで2位という快挙を達成した佐藤冴香（日体大）は準々決勝でスン・ジヒュン（韓国）に21−18、19−21、11−21で敗れた。相手は1回戦で昨年の優勝者・樽野恵（NTT東日本）を破るなど勢いに乗っている。それでも佐藤は第1ゲームを取って優位に立った。

当然「2ゲーム目が勝負だった」が、その展開は我慢比べ。11−13となってからは1ポイント差に詰め寄るもののなかなか追いつけない。佐藤が「追いつきたい、決めたいと思って力んでしまった」と反省した内容で流れがスンへ行く。

ファイナルゲームは佐藤らしいサウスポーからの強打は見せながらも、流れを引き戻せずに終わった。「ポイントを挙げておきたかったこの大会で思うようにいかなかったので、今後は海外の試合を含めてしっかり勝っていきたい」と佐藤は今後を見据えた。

【女子ダブルス】

髙橋礼華（日本ユニシス）／松友美佐紀（聖ウルスラ学院英智高）が、松尾静香／内藤真実（三洋電機）を21−19、22−20で破りベスト4進出。ヤングパワー爆発に会場全体がどよめいた。この日はまず2回戦でジュン・キュンユン／イン・ヘウォン（韓国）を21−19、25−23で下し、18歳の髙橋と17歳の松友の歯車がかみ合った。

松尾／内藤と対しても、大きなミスをせずしつこく食らいついた。逆に三洋電機ペアにミスが出る格好で第1ゲームを奪った。ゲームポイントをつかんでから相手の3連続ポイントで20−19まで迫られ「あそこが今日一番苦しかった」と髙橋はいう。それだけにそこで踏ん張っての第1ゲーム奪取は大きかった。

第2ゲームは4−0から三洋電機の実力派ペアが盛り返し、12−10からは5連続ポイントを失うなど逆転された。15−20となって、髙橋と松友が「正直あそこは負けたと思った。切り替えてファイナルへ」と口をそろえた場面。しかし、今度はヤングペアが7ポイント連取して勝ってしまった。昨年はヨネックスOPジャパンなど実業団選手を下したが、今年も春から旋風を巻き起こしている。

【男子ダブルス】

平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）が準々決勝で黒瀬尊敏／劉志遠（トナミ運輸）との同僚対決を制した。互いに手の内は知り尽くしているが、第1ゲームは中盤で6連続ポイントを挙げた平田／橋本が21−15で押し切った。ここからが白熱戦となった。第2ゲームは取って取られての展開で最後は黒瀬／劉が21−19でタイに。

ファイナルゲームは途中橋本が足を痛めるアクシデントも。全力でぶつかりあった好試合は平田／橋本がラストを22−20で決め、4強に進んだ。

4/4 大会4日目

【混合ダブルス】

決勝はシェー・ユーシン／チェン・ユーチン（チャイニーズタイペイ）と平田典靖（トナミ運輸）／松尾静香（三洋電機）の対戦となった。

この日の準決勝ではチャイニーズタイペイの実績あるペアに、垣畑亮太（法大）／髙橋礼華（日本ユニシス）が果敢に挑んだ。シェーの高い打点のスマッシュには垣畑が強打で対抗するなど見どころも多く、第1ゲームは一時17−13とリードした。ここから相手に5連続ポイントを奪われ17−18に。すぐ追いついたものの、直後は3連続でポイントを失いこのゲームを取られた。

垣畑は「初めてのミックスで、楽しむこともできました」と新たな分野へ臨んだことへの充実感を味わっていた。髙橋とは3月上旬の合宿で初めて組んで練習した間柄だが、第2ゲームでは相手を上回るほど息も合い、19−12と引き離した。ただ、ここからが経験の差か。シェーとチェンの強打の波状攻撃などもあり一気に9連続でポイントを奪われ、あっという間にひっくり返された敗戦。「相手は終盤にミスをしない。集中力が違った。最後は、自分の足が止まったし、もっとスタミナ強化をしないといけません」と垣畑は試合運びの違いを痛感した。ただ、この一戦は貴重。「今後は今回のことを生かして国際大会などで一層経験を積みたい」と手ごたえも感じ取っていた。

【男子シングルス】

イ・チャオホー（韓国）とソン・ワンホ（韓国）が王座をかけて対決することになった。イはキム・サラン（韓国）と、ソンはジャン・ヨンス（韓国）とぶつかっての勝ち上がり。

ベスト4を韓国勢で独占したのは3回目の大会で初となり、対決は熱かった。キムを圧倒したイは、最後は豪快に飛び込んで"ウイニングショット"。力強さを見せ付けた。ソンはジャンをファイナルゲームで突き放し。16−15から強打も爆発し5連続ポイントで試合を決めた。互いのスタイルをぶつけ合う決勝も好勝負が期待される。

【女子シングルス】

女王争いは後藤愛（NTT東日本）―キム・ムンヒ（韓国）で決戦を迎える。

後藤は準決勝で今井幸代（ルネサス SKY）と対戦した。第1ゲームは後藤が序盤からリード。今井がじわじわと追い上げて16−16からは互いに譲らないが、結局後藤が22−20と突き放した。

第2ゲームは今井が盛り返して21−15。ファイナルゲームも今井が6−1としたが、ここから後藤が持ち味を発揮し始めた。「あそこで開き直りました。そうしたら、球もよく見えるようになってきて」7ポイント連取。この試合に臨む前に「相手も根性で打ってくる。どちらが踏ん張れるか」をポイントにしたが、終盤は後藤の多彩なショットも生きてきて、決勝へ進んだ。

【男子ダブルス】

廣部好輝／小宮山元（日本ユニシス）と平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）が決勝の舞台に上がる。

準決勝で観客から熱い視線を浴びたのが小松崎佑也／垰畑亮太（法大）だ。平田／橋本に対してファイナルゲームで先に20−19とマッチポイントを握った。しかし、そこでミスも出て追いつかれ、さらに2ポイントを奪われた。試合の幕切れは垰畑がネットにかけてしまい、学生ペアはコート上でがっくりひざをついた。

「ナショナルメンバーの底力を見せつけられました」と小松崎は悔しい場面を振り返ったが、ナショナル候補としての今大会初参戦で収穫もたくさんあったようだ。「1ゲームを先に取って、そしてさらに、攻めて攻めていけました。この国際大会出場を機に、もっと強くなりたい」と笑顔も取り戻していた。

【女子ダブルス】

ヤングパワーさく裂の髙橋礼華（日本ユニシス）／松友美佐紀（聖ウルスラ学院英智高）が、頂点を目指して森かおり／脇坂郁（三洋電機）に挑む。

髙橋／松友は、藤井瑞希／垣岩令佳（ルネサス　SKY）と対戦した準決勝で15−21と第1ゲームを失ったあと、21−19、22−20の大熱戦の末に逆転勝利。昨年のヨネックスOPジャパンで下した藤井／垣岩に再び勝った。ものおじしないプレースタイルで、とうとう決勝戦のコートに立つ。

福万尚子（樟蔭東高）／高橋沙也加（高岡西高）に快勝した森／脇坂ペアが、どう対処するか。準決勝でも「受身にならないプレーを心がけた」と元オリンピック選手の森が言う。両ペアのカラーの出し合いも見ものだ。



4/5 大会5日目

【男子シングルス】

韓国勢同士の決勝は、イ・チャオホーがソン・ワンホを19−21、21−11、21−11。第2ゲームからエンジン全開になって制した。最後はイのジャンピングスマッシュが決まって見事な王座奪取。

ノーシードから勝ち上がってきたイは、2回戦で大会第6シードの山田和司（日本ユニシス）を、この日の決勝で第8シードのソンを下した。

第1シードのアンドリュー・スミス（イングランド）が2回戦で敗れ、昨年優勝の佐伯浩一（NTT東日本）が1回戦で姿を消すなど波乱ぶくみだったが、イの大会初優勝は熱戦の象徴でもあった。

【女子シングルス】



後藤愛（NTT東日本）がキム・ムンヒ（韓国）に完勝して大会初優勝。

表彰式では観客からあらためて「その差」を実感する驚きの声が上がった。表彰台の一番高いところに立った後藤だが、隣の準優勝の台にいるキムの頭の方がまだ高い位置にあるのだった。152センチの小柄な後藤に対してキムは185センチで、その差は33センチもあった。ただ、試合内容は後藤がビッグ。第1ゲームは16−14から5連続ポイントで取り、第2ゲームも再現するように16−14のあと突き放した。長身のキムのカットを確実に拾っていった後藤は相手の出方を見極めると、「スピードでは私が勝っている」と自分を信じたプレーでポイントを重ねていった。キムは「思ったとおりの試合ができなかった。粘りもできなかった」といい「相手は粘りがあるし守りがいい」と後藤を称えた。後藤自身は「国際大会の優勝は初めてで、日本開催の大会でこのような結果が出てうれしいです」と喜び、今後はさらに「ウエートトレーニングなども積極的にやっていますが、もっと攻撃力をつけ相手によって柔軟なプレースタイルがとれるようになりたい」と、どん欲な姿勢で課題に取り組んでいく。

【男子ダブルス】

廣部好輝／小宮山元（日本ユニシス）が平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）を21−19、21−10で下して初の頂点に立った。

廣部／小宮山は持ち味を十分に発揮した。小宮山が「廣部が安定しているから自分は無茶ができる。その無茶が今日は生きた」と気持ちよく汗をぬぐった。第1ゲームの中盤以降の競り合いを21−19でものにした。

第2ゲームは3−4から一気の8ポイント奪取。12−7からも5連続、3連続とポイントを重ね21−10と圧倒した。廣部は「相手（橋本）が（足を）ケガしているのを知っていて、気にしながらも、いけるところはいけた」とプレーを振り返った。その橋本は「足は大丈夫です。ただ、今日は自分のカバーが遅れた。甘い球を自分が返しすぎた」と反省した。ただ、平田／橋本はこれからが期待されるペア。平田は準々決勝、準決勝ときわどい勝利をつかんだことを収穫とし「（準々、準決で）最後の1、2点を取れたのはよかった」と話し、今後の課題に「スタートで勢いに乗ること」を挙げた。

優勝の味をかみしめた廣部／小宮山は弾みをつける。「（自分たちは）あまり知名度が高くないので、もっと頑張りたい」と廣部が口にしたように、ここからメジャーになっていく。

【女子ダブルス】

75分の熱戦の末に女王の座を奪取したのは髙橋礼華（日本ユニシス）／松友美佐紀（聖ウルスラ学院英智高）だった。森かおり／脇坂郁（三洋電機）に21−16、16−21、24−22と、力を出し合った好試合は今大会のハイライトとなった。

出だしは森／脇坂の熟練プレーヤーが7−2とすんなりリードした。旋風を巻き起こしてきたもうすぐ19歳の髙橋と17歳の松友だが、ここはやはり「序盤は固くなっていた」と口をそろえた。しかし、相手の返す球がやや甘くなったところでは松友がスマッシュを決めるなど9−9に追いついてから髙橋／松友の形になっていく。13−13からはラリーも制して勢いもつけ7連続ポイント。結局21−16で押し切った。

三洋電機ペアの巻き返しは第2ゲーム。15−14からは相手のミスを誘い、さらには森のカット、スマッシュで追い討ちをかけ19−14とし、最後は21−16で取り返した。

勝負のファイナルゲームは会場も息をのむ展開となった。髙橋／松友が19−16としたあとのプレーは長いラリーになってどよめきが何度も起こった。ここを森／脇坂が取って2ポイント差。さらに1ポイント加えた森／脇坂に対して、ヤングペアは松友のスマッシュでついにマッチポイント。ただ、森／脇坂もこのまま終わらない。森のスマッシュが決まり、直後は松友のスマッシュがネットにかかって20−20となった。22−22と動いてからは髙橋のカットで23ポイント目。このあとサーブレシーブをネットにかけた三洋電機ペアが万事休す。もっと見ていたい白熱した決勝戦に終止符が打たれた。

髙橋／松友は表彰台で満面の笑顔を見せ、髙橋は「決勝へ進めたことそのものもうれしかった。そして、1位と2位ではやはり違うと思うので、勝ててうれしいです」とナンバーワンの味をかみしめた。松友も「先輩（髙橋）にカバーしてもらって、一本一本全力でいけました」と快挙を実感した。

一方、敗れはしたが、森は「第2ゲームは自分たちのゲーム運びができたし、今後へつながる試合内容でもあったと思います」と前向きだった。それぞれが、大阪を沸かせた最後の激戦を糧として、よりたくましくなっていく。

【混合ダブルス】

シェー・ユーシン／チェン・ユーチン（チャイニーズタイペイ）が平田典靖（トナミ運輸）／松尾静香（三洋電機）を21−18、21−15で下し初優勝を飾った。

「ミックスダブルスは初めてなので優勝できてうれしい」とチェンは感激の面持ちだった。チェンは女子ダブルス、シェーは男子シングルスの実力者だが、今後は混合ダブルスでも動きが注目されることになる。

シェー／チェンは第1ゲームで5ポイントを連取してペースをつかみ、追い上げてくる平田／松尾を抑えた。結果的に試合中にリードを許したのは第1ゲームで8−9とされたところの一度だけ。チェンは「今回はどの試合もきつかった」というが「スピードとパワーは自分たちが勝っていたと思う」。底力を見せつけた内容だった。

平田／松尾は前回大会に続く準優勝。「今年こそはという思いはあったんですが」と平田は残念そう。それだけ前を向いているということだ。松尾も「コンビネーションはよくなっている」と手ごたえはつかんでいる。今後のグレードアップが楽しみだ。





WD Women's Doubles

多谷郁恵

TATANI Ikue

07年日本リーグでMVPを獲得したが、膝の靭帯を断裂し戦列を離れリハビリに専念。翌年全日本総合で4年連続の3位入賞で復活を果たす。パートナーの脇坂選手引退で今大会は新人の福万選手とのペアで挑む。

【たたに・いくえ】
84年1月14日生(26歳)162cm/右利き/三洋電機/滋賀県出身/日吉中～滋賀女子高～滋賀女子短大/'05～'08全日本総合3位、'06'07日本ランキング大会優勝、'07全日本社会人優勝



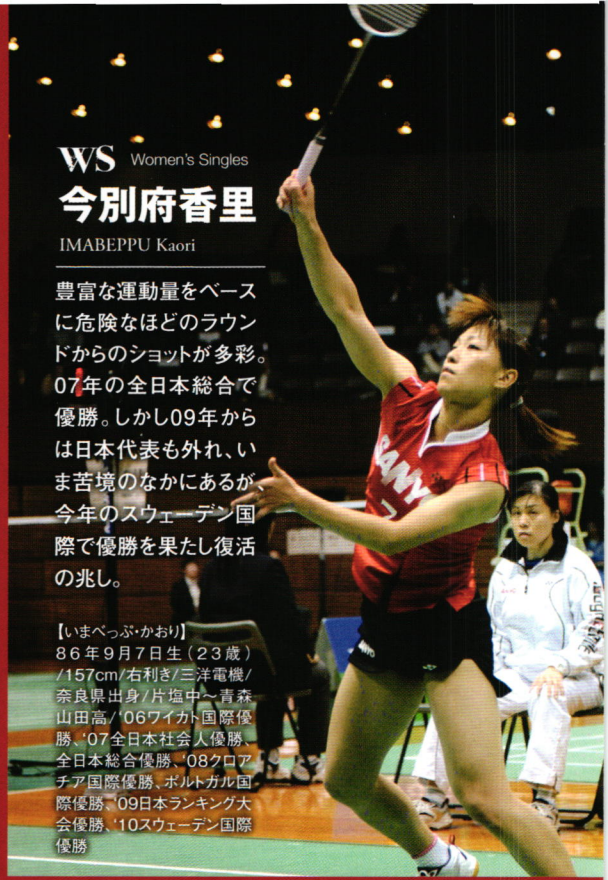
WS Women's Singles

村松瑞穂

MURAMATSU Mizuho

コート内をバネのある動きで走り回り、決してあきらめないプレーで全国大会上位の常連。今年から三洋電機のサブキャプテンとなりチームを引っ張る。地元大会で上位進出を果たしたいところだ。

【むらまつ・みずほ】
85年9月12日生(24歳)158cm/右利き/三洋電機/静岡県出身/富士宮第1中～星陵高～筑波大/'03インターハイ複優勝、全日本ジュニア複優勝、'04'06'07インカレ単3位、'05'06'08全日本総合単8強、'09全日本社会人単3位



WS Women's Singles

今別府香里

IMABEPPU Kaori

豊富な運動量をベースに危険なほどのラウンドからのショットが多彩。07年の全日本総合で優勝。しかし09年からは日本代表も外れ、いま苦境のなかにあるが、今年のスウェーデン国際で優勝を果たし復活の兆し。

【いまべっぷ・かおり】
86年9月7日生(23歳)/157cm/右利き/三洋電機/奈良県出身/片塩中～青森山田高/'06ワイカト国際優勝、'07全日本社会人優勝、全日本総合優勝、'08クロアチア国際優勝、ポルトガル国際優勝、09日本ランキング大会優勝、'10スウェーデン国際優勝

地元選手紹介



WD Women's Doubles

米元小春

YONEMOTO Koharu

ネット前でのプレーに自信を持ちダブルスのスペシャリストを目指す社会人2年目のホープ。三木選手とともに日本代表Bに選ばれ今年は飛躍を予感させる。

【よねもと・こはる】
90年12月7日生(19歳)166cm/右利き/三洋電機/広島県出身/翠町中～青森山田高/'07'08インターハイ2位、'09日本ランキング大会8強、全日本社会人3位、ベトナムOP複8強



WD Women's Doubles

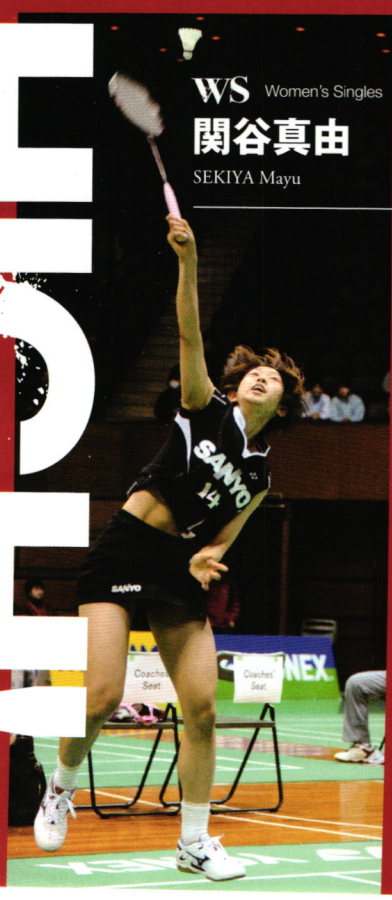
三木佑里子

MIKI Yuriko

高校時代から単複をこなし全国大会で上位を争ってきた。パワーも付き日本代表Bにも選ばれ米元選手とのダブルスも期待される若手のホープ。

【みき・ゆりこ】
89年10月1日生(20歳)166cm/右利き/三洋電機/埼玉県出身/富士中～越谷南高/'06全日本ジュニア単複2位、'07インターハイ単3位、オーストラリア国際単複3位、'08大阪国際複8強、全日本社会人複8強、'09日本ランキング大会8強、全日本社会人複3位、ベトナムOP複8強

HIGH!



WS Women's Singles

関谷真由

SEKIYA Mayu

高い打点から角度のある攻撃で08年のこの大会で準優勝を果たす。09年は日本代表としてYYオープンジャパン8強や全日本実業団大会でMVPを獲得するなど順調にレベルアップ。ゲンの良いこの大会での活躍が期待される。

【せきや・まゆ】
87年2月25日生(23歳)169cm/右利き/三洋電機/愛媛県出身/中萩中～九州国際大付高/'08インカレ優勝、大阪国際2位、'09ヨネックスオープンジャパン8強、全日本社会人8強

WD Women's Doubles

福万尚子

FUKUMAN Naoko

SANYOジュニアクラブ出身で憧れの三洋電機に今年4月入社。昨年のこの大会ではねばり強いレシーブを武器に第2シードのタイ選手を破り3位入賞を果たす。

【ふくまん・なおこ】
92年3月3日生(18歳)155cm/右利き/三洋電機/大阪府出身/樟蔭東中～樟蔭東高/'08全日本ジュニア単2位、'09高校選抜単3位、大阪国際3位、インターハイ単複3位、アジアジュニア複8強



LIST OF WINNER 2007-2009

大阪インターナショナルチャレンジ　歴代ベスト4

2010 OSAKA INTERNATIONAL CHALLENGE BADMINTON CHAMPIONSHIPS



2007

men's singles

1	SASAKI Sho	佐々木　翔	日本
2	SATO Shoji	佐藤　翔治	日本
3	PARK Tae Sang	朴　泰相	韓国
	PARK Sung Hwan	朴　成奐	韓国

women's singles

1	HIROSE Eriko	廣瀬　栄理子	日本
2	YONEKURA Kanako	米倉　加奈子	日本
3	HIRAYAMA Yu	平山　優	日本
	GOTO Ai	後藤　愛	日本

men's doubles

1	HAN Sang Hoon CHO Gun Woo	韓　相訓 曺　建雨	韓国
2	SAKAMOTO Shuichi IKEDA Shintaro	坂本　修一 池田　信太郎	日本
3	MASUDA Keita OHTSUKA Tadasi	舛田　圭太 大束　忠司	日本
	BUDIARTO Sigit KURNIAWAN Fran	シギット・ブディアント フラン・クルニアワン	インドネシア

women's doubles

1	MATSUDA Tomomi AKAO Aki	松田　友美 赤尾　亜希	日本
2	OGURA Kumiko SHIOTA Reiko	小椋　久美子 潮田　玲子	日本
3	WAKISAKA Aya TATANI Ikue	脇坂　郁 多谷　郁恵	日本
	SUETSUNA Satoko MAEDA Miyuki	末綱　聡子 前田　美順	日本

mixed doubles

1	MASUDA Keita MAEDA Miyuki	舛田　圭太 前田　美順	日本
2	CHO Gun Woo HONG Soo Jung	曺　建雨 洪　水晶	韓国
3	HAYAKAWA Kenichi NAITO Mami	早川　賢一 内藤　真実	日本
	HAN Sang Hoon KIM Min Jung	韓　相訓 金　旼貞	韓国



2008

men's singles

1	SAEKI Koichi	佐伯　浩一	日本
2	SAENSOMBOONSUK Tanongsak	タノンサック・サエンソンボーンスク	タイ
3	KOZAI Kazuteru	古財　和輝	日本
	YAMAGUCHI Kimihiro	山口　公洋	日本

women's singles

1	TARUNO Megumi	樽野　恵	日本
2	SEKIYA Mayu	関谷　真由	日本
3	IMAI Sachiyo	今井　幸代	日本
	BAE Youn Joo	裵　延妹	韓国

men's doubles

1	KO Sung Hyun KWON Yi Goo	高　成炫 権　利九	韓国
2	KAWAGUCHI Keisi KAWAMAE Naoki	川口　馨士 川前　直樹	日本
3	HAYAKAWA Kenichi KAZUNO Kenta	早川　賢一 数野　健太	日本
	ENDO Hiroyuki YAMADA Kazushi	遠藤　大由 山田　和司	日本

women's doubles

1	OGURA Kumiko SHIOTA Reiko	小椋　久美子 潮田　玲子	日本
2	HA Jung Eun KIM Min Jung	河　貞恩 金　旼貞	韓国
3	ITO Kana NAITO Mami	伊東　可奈 内藤　真実	日本
	MATSUO Shizuka IMABEPPU Yasuyo	松尾　静香 今別府　靖代	日本

mixed doubles

1	KWON Yi Goo HA Jung Eun	権　利九 河　貞恩	韓国
2	HIRATA Noriyasu MATSUO Shizuka	平田　典靖 松尾　静香	日本
3	WADA Shu MATSUTOMO Misaki	和田　周 松友　美佐紀	日本
	KO Sung Hyun KIM Min Jung	高　成炫 金　旼貞	韓国



2009

men's singles

1	LEE Cheol Ho	李　喆鎬	韓国
2	SHON Wan Ho	孫　完虎	韓国
3	KIM Sa Rang	金　サラン	韓国
	JANG Young Soo	裝　瑛秀	韓国

women's singles

1	GOTO Ai	後藤　愛	日本
2	KIM Moon Hi	金　紋希	韓国
3	IMAI Sachiyo	今井　幸代	日本
	SUNG Ji Hyun	成　池鉉	韓国

men's doubles

1	HIROBE Yoshiteru KOMIYAMA Hajime	廣部　好輝 小宮山　元	日本
2	HASHIMOTO Hirokatsu HIRATA Noriyasu	橋本　博且 平田　典靖	日本
3	HAYAKAWA Kenichi KAZUNO Kenta	早川　賢一 数野　健太	日本
	KOMATSUZAKI Yuya TAOHATA Ryota	小松崎　佑也 峠畑　亮太	日本

women's doubles

1	MATSUTOMO Misaki TAKAHASHI Ayaka	松友　美佐紀 髙橋　礼華	日本
2	MORI Kaori WAKISAKA Aya	森　かおり 脇坂　郁	日本
3	FUJII Mizuki KAKIIWA Reika	藤井　瑞希 垣岩　令佳	日本
	FUKUMAN Naoko TAKAHASHI Sayaka	福万　尚子 高橋　沙也加	日本

mixed doubles

1	HSIEH Yu Hsin CHIEN Yu Chin	謝　裕興 簡　毓瑾	台北
2	HIRATA Noriyasu MATSUO Shizuka	平田　典靖 松尾　静香	日本
3	TAOHATA Ryota TAKAHASHI Ayaka	峠畑　亮太 髙橋　礼華	日本
	HASHIMOTO Hirokatsu NAITO Mami	橋本　博且 内藤　真実	日本

「守プリ」から愛され続けて25年。守口ロイヤルパインズホテルです。

ブッフェレストラン「ザ・パークビュー」(1F)

北海道&紀ノ国 まるごと食べ放題 総集編

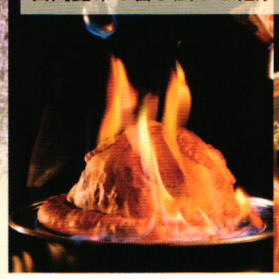
おいしいとこどり!

4/30(金)まで

大人気の北海道&紀ノ国！
初のコラボレーションブッフェ

紀州うめどりと日高昆布の炎のパイ包み焼き

紀州うめどりと日高昆布をパイ生地で包み、オーブンで約1時間じっくり蒸し焼きに。しっとりやわらかく仕上がったうめどりと日高昆布の香り広がる絶妙のハーモニーをお楽しみください！







メガジャンボプリン ア・ラ・モード(タイムサービス)

おから蓮根のハンバーグ

巨大なおからハンバーグに、紫蘇、胡麻、和歌山の米油で揚げた蓮根チップを添えました。手の大きさと比べると一目瞭然のビックサイズ！





ボイルずわい蟹

土・日・祝日ディナーは食べ放題！



和歌山「せち焼き」

焼きそばを小麦粉を使わずに卵だけでまとめたものです





北海道&紀ノ国 総集編 ランチ

【時間】11:30A.M.～2:30P.M.（内90分）

北海道&紀ノ国 総集編 土・日・祝日スペシャルディナー

【時間】5:00P.M.～9:00P.M.（内120分）

※混雑が予想される日は、2部制（①5:00P.M.～7:00P.M./②7:10P.M.～9:10P.M.）にてご案内させていただきます。

料金1名さま		ランチ	土・日・祝日ディナー
おとな	通常	¥1,900	¥3,300
	予約特別料金	¥1,800	¥3,000
シニア	通常	¥1,700	¥2,600
	予約特別料金	¥1,600	¥2,500
こども	通常	¥ 900	¥ 900
	予約特別料金	¥ 880	¥ 880

※シニア：65歳以上　※こども：4歳～小学生　※ソフトドリンク飲み放題付き
※料金には、税金が含まれております。

ECO割 始めました。

食べ残しのないお客さま（1グループごと）に、次回ご利用の際にお使いいただける10% OFFチケットをプレゼント♪
詳しくはスタッフにお尋ねください。

GW 5月1日(土)～5日(祝)

ゴールデンウイーク ジャンボブッフェ

～蟹&ステーキ食べ放題～





■ ランチ

【時間】1部 11:30A.M.～1:30P.M.
2部 1:20P.M.～2:50P.M.

【料金】1名さま おとな¥2,200 → 予約特別料金 ¥2,000
シニア¥2,000 → ¥1,800
こども¥1,000 → ¥ 900

■ ディナー

【時間】1部 5:00P.M.～7:00P.M.
2部 7:10P.M.～9:10P.M.

【料金】1名さま おとな¥3,800 → 予約特別料金 ¥3,500
シニア¥2,900 → ¥2,600
こども¥1,200 → ¥1,000

※シニア：65歳以上　※こども：4歳～小学生

お問合せ番号：4-A 「予約特別料金」をご利用の際は、一週間前までにご予約ください。その際に「お問合せ番号」をお伝えください。また、当日必ず本誌をご持参ください。



守口ロイヤルパインズホテル（大阪）

大阪から京都から、ひとつの路線で。京阪電車守口市駅直結

http://www.royalpines.co.jp/moriguchi/　守口ロイヤルパインズホテル　検索

〒570-0038 大阪府守口市河原町10-5

お問合せ・ご予約は、レストラン予約係まで。（9:00A.M.～7:00P.M.）TEL.(06)6994-1185



LIST OF COMPETITORS

出場予定選手（3月25日現在）

2010 OSAKA INTERNATIONAL CHALLENGE BADMINTON CHAMPIONSHIPS

MACAU

WANG Rong	ワン・ロン	王蓉	WS

MONGOLIA

OLONBAYAR ENKHBAT	インクバット・オロンバヤー	MS, MD
TERBISH UUGANBAYAR	ウーガンバヤー・テルビッシュ	MS, MD
MUNKHBAATAR ZOLZAYA	ゾルザヤ・ムンクバーター	MS, MD
DONDOG GALMANDAKH	ガルマンダク・ドンドグ	MS
ENKHBOLD ERDENEBAYAR	エルデネバヤー・インクボールド	MS, MD

PHILIPPINES

ALCALA Malvinne Ann Venice	マルヴィン・アン・ヴェニス・アルカラ	WS

RUSSIA

Pukhov Stanislav	スタニスラフ・プクホフ	MS
Lunev Sergey	セルゲイ・ルネフ	MS, MD, XD
DREMIN Evgenij	イヴゲニー・ドゥレミン	MD, XD
Zhurba Daria	ダリア・ジュルバ	WS, XD

CHINESE TAIPEI

HSU Jen Hao	スー・ジェンハオ	許仁豪	MS, MD
LIU Chih Lun	リュウ・チールン	劉治倫	MS
SHIH Kuei Chun	シー・クェイチュン	施貴鈞	MS
LIN Yu Hsien	リン・ユーシェン	林祐賢	MS, MD
HSU Shao Wen	スー・シャオウェン	徐紹文	MS, MD
LIN Yu Jui	リン・ユージュイ	林佑叡	MS, MD
FENG Sheng Jie	フェン・シェンジェ	馮勝杰	MS
HSIEH Ping Hsuan	シェー・ピンスアン	謝秉軒	MS
LIANG Jui Wei	リャン・ジュイウェイ	梁睿緯	MS, MD, XD
HO Chih Chieh	ホ・チーチェー	何致穎	MS
LIN Yen Jui	リン・イェンジュイ	林彦睿	MD, XD
LU Chia Pin	ル・チアピン	呂佳彬	MD, XD
HUANG Po Yi	ファン・ポーイー	黄博翊	MD, XD
LIAO Kuan Hao	リャオ・クアンハオ	廖冠皓	MD, XD
CHEN Chung Jen	チェン・チュンジェン	陳中仁	MD, XD
TSENG Min Hao	ツェン・ミンハオ	曾敏豪	MD
SU Yi Neng	スー・イーネン	蘇義能	MD
HUNG Ying Yuan	フン・インユアン	洪英源	MD
PAN Chia Hsiang	パン・チアシャン	潘家祥	MD
CHIANG Pei Hsin	チャン・ペイシン	江佩欣	WS
HUNG Shih Han	フン・シーハン	洪詩涵	WS, XD
PAI Yu Po	パイ・ユーボ	白馭珀	WS
CHENG Chi Ya	チェン・チーヤ	程琪雅	WS
LU Chia Chien	ル・チアチェン	呂家蓁	WS
PAI Hsiao Ma	パイ・シャオマ	白驍馬	WS, XD
TAI Ching Chieh	タイ・チンチェー	戴靖潔	WS
CHIANG Kai Hsin	チャン・カイシン	姜凱心	WD, XD
PENG Hsiao Chu	ペン・シャオチュー	彭筱筑	WD, XD
WU Ti Jung	ウー・ティジュン	吳玓蓉	WD, XD
SHUAI Pei Ling	シュアイ・ペイリン	帥佩伶	WD, XD

THAILAND

JONGJIT Maneepong	マニーポン・ジョングジット	MD, XD
ISARA Bodin	ボディン・イサラ	MD
D.CABALLES Tin	ティン・D・キャバレス	MD
PHUANGPHUAPET Nipitphon	ニピットフォン・プアンプアペット	MD, XD
CHUTHABUNDITKUL Rodjana	ロジャナ・チュタブンディックル	WD, XD
HONGCHOOKEAT Soikhaimuk	ソイクハイムック・ホンチューキート	WD, XD

JAPAN

佐々木 翔	ササキ ショウ	トナミ運輸	MS
山田 和司	ヤマダ カズシ	日本ユニシス	MS
早崎 修平	ハヤサキ シュウヘイ	日立情報通信エンジニアリング	MS
佐藤 翔治	サトウ ショウジ	NTT東日本	MS, MD
武下 利一	タケシタ リイチ	敬和学園大学3年	MS, MD
園田 啓悟	ソノダ ケイゴ	トナミ運輸	MS, MD
佐藤 黎	サトウ レイ	日本体育大学2年	MS, MD
上田 拓馬	ウエダ タクマ	早稲田大学4年	MS, MD
和田 周	ワダ シュウ	日本体育大学2年	MS, MD
木戸 道治	キド ミチハル	日本体育大学2年	MS, MD
星野 翔平	ホシノ ショウヘイ	日本体育大学1年	MS, MD
渡邊 達哉	ワタナベ タツヤ	日本体育大学1年	MS, MD
大滝 直人	オオタキ ナオト	日本体育大学1年	MS, MD
丸尾 亮太郎	マルオ リョウタロウ	日本大学1年	MS, MD
堀内 研人	ホリウチ ケント	埼玉栄高校3年	MS
桃田 賢斗	モモタ ケント	富岡高校1年	MS
竹内 宏気	タケウチ ヒロキ	埼玉栄高校3年	MS, MD
小髙 拓也	コタカ タクヤ	東大阪大学柏原高校3年	MS, MD
島田 大輝	シマダ ダイキ	埼玉栄高校3年	MS, MD
平田 典靖	ヒラタ ノリヤス	トナミ運輸	MD, XD
橋本 博且	ハシモト ヒロカツ	トナミ運輸	MD, XD
數野 健太	カズノ ケンタ	日本ユニシス	MD, XD
早川 賢一	ハヤカワ ケンイチ	日本ユニシス	MD, XD
川前 直樹	カワマエ ナオキ	NTT東日本	MD, XD
廣部 好輝	ヒロベ ヨシテル	日本ユニシス	MD, XD
遠藤 大由	エンドウ ヒロユキ	日本ユニシス	MD
嘉村 健士	カムラ タケシ	早稲田大学3年	MD, XD
小林 晃	コバヤシ アキラ	日本体育大学1年	MD, XD
竹内 義徳	タケウチ ヨシノリ	埼玉栄高校3年	MD, XD
山口 容正	ヤマグチ ヨウセイ	高岡第一高校3年	MD, XD
佐々木 崇	ササキ タカシ	関東第一高校2年	MD, XD
堀田 周吾	ホッタ シュウゴ	比叡山高校2年	MD
豊島 大地	トヨシマ ダイチ	埼玉栄高校2年	MD, XD
井上 拓斗	イノウエ タクト	埼玉栄高校1年	MD
和田 治久	ワダ ハルヒサ	埼玉栄高校3年	MD, XD
池田 信太郎	イケダ シンタロウ	日本ユニシス	XD
銭谷 翔	ゼニヤ ショウ	中央大学4年	MS
古財 和輝	コザイ カズテル	トナミ運輸	MS
佐伯 浩一	サエキ コウイチ	NTT東日本	MS
竹村 純	タケムラ ジュン	JR北海道	MS
井上 知也	イノウエ トモヤ	日本ユニシス	MS
早坂 幸平	ハヤサカ コウヘイ	JR北海道	MS
山口 公洋	ヤマグチ キミヒロ	NTT東日本	MS, MD
藤田 真生	フジタ マオ	東京都協会	MS
櫻井 勝仁	サクライ カツヒト	大阪トリッキーパンダース	MD
中村 寿史	ナカムラ トシフミ	大阪トリッキーパンダース	MD
野口 勝利	ノグチ カツトシ	日本大学3年	MD
山崎 裕太	ヤマサキ ユウタ	日本大学3年	MD
安村 康介	ヤスムラ コウスケ	トナミ運輸	MD, XD
米 隆夫	ヨネ タカオ	トナミ運輸	MD
松澤 龍徳	マツザワ タツノリ	トナミ運輸	MD
黒瀬 尊敏	クロセ タカトシ	トナミ運輸	MD
諸多 大輔	モロタ ダイスケ	NTTグループ東北	MD
斎藤 元伸	サイトウ モトノブ	わかたけ保育園	MD
塚本 好喜	ツカモト ヨシキ	日本体育大学1年	MD
岡本 拓磨	オカモト タクマ	日本体育大学1年	MD
堀川 善生	ホリカワ ヨシオ	NTT東日本	MD
堂本 克樹	ドウモト カツキ	三洋電機CE	MD
花本 大地	ハナモト ダイチ	三洋電機CE	MD
大滝 祐紀	オオタキ ユウキ	東海興業	XD
川口 佳介	カワグチ ケイスケ	大阪トリッキーパンダース	XD
鈴木 知道	スズキ トモミチ	JR北海道	XD
車 淳史	クルマ アツシ	金沢学院クラブ	XD
宮本 雅人	ミヤモト マサト	東海興業	XD
山下 大介	ヤマシタ ダイスケ	Y·B·S	XD

廣瀬 栄理子	ヒロセ エリコ	三洋電機	WS
後藤 愛	ゴトウ アイ	NTT東日本	WS
佐藤 冴香	サトウ サヤカ	日本体育大学2年	WS
平山 優	ヒラヤマ ユウ	日本ユニシス	WS
松友 美佐紀	マツトモ ミサキ	日本ユニシス	WS, WD
櫛野 恵	タルノ メグミ	NTT東日本	WS, WD
打田 しづか	ウチダ シヅカ	日本ユニシス	WS, WD
栗原 文音	クリハラ アヤネ	日本ユニシス	WS, WD
野尻野 匡世	ノジリノ マサヨ	日本ユニシス	WS, WD
三谷 美菜津	ミタニ ミナツ	NTT東日本	WS
福万 尚子	フクマン ナオコ	三洋電機	WS, WD
髙橋 沙也加	タカハシ サヤカ	高岡西高校3年	WS, WD
玉木 絵里子	タマキ エリコ	早稲田大学2年	WS, WD
峰 歩美	ミネ アユミ	岡崎城西高校3年	WS, WD
古西 佳那子	コニシ カナコ	高岡西高校3年	WS, WD
與猶 くるみ	ヨナオ クルミ	岡崎城西高校3年	WS, WD
藤井 珠生	フジイ タマキ	日本体育大学1年	WS, WD
髙木 美季	タカギ ミキ	富岡高校3年	WS
奥原 希望	オクハラ ノゾミ	大宮東高校1年	WS
下田 菜都美	シモダ ナツミ	橡藤東高校3年	WS
髙瀬 秀穂	タカセ ヒデホ	西武台千葉高校2年	WS
山本 明希歩	ヤマモト アキホ	熊本中央高校2年	WS, WD
藤井 瑞希	フジイ ミズキ	ルネサス SKY	WD, XD
垣岩 令佳	カキイワ レイカ	ルネサス SKY	WD, XD
松尾 静香	マツオ シズカ	三洋電機	WD, XD
内藤 真実	ナイトウ マミ	三洋電機	WD
末綱 聡子	スエツナ サトコ	ルネサス SKY	WD
前田 美順	マエダ ミユキ	ルネサス SKY	WD, XD
髙橋 礼華	タカハシ アヤカ	日本ユニシス	WD, XD
三木 佑里子	ミキ ユリコ	三洋電機	WD, XD
米元 小春	ヨネモト コハル	三洋電機	WD, XD
田中 志穂	タナカ シホ	青森山田高校3年	WD, XD
城口 優里花	シログチ ユリカ	名古屋経済大学市邨高校3年	WD, XD
脇野 利奈	ワキノ リナ	聖ウルスラ学院英智高校3年	WD, XD
三木 江里子	ミキ エリコ	小松原女子高校2年	WD
篠谷 菜留	シノヤ ナル	青森山田高校2年	WD
原田 なつみ	ハラダ ナツミ	富岡高校1年	WD, XD
早川 紗保里	ハヤカワ サホリ	富岡高校1年	WD, XD
小見山 彩	コミヤマ サヤカ	富山国際大学付属高校1年	WD
島田 きらら	シマダ キララ	青森山田高校1年	WD
潮田 玲子	シオタ レイコ	三洋電機	XD
岡 ひとみ	オカ ヒトミ	ルネサス SKY	WS
柏原 未久	カシワバラ ミク	ヨネックス	WS
伊東 可奈	イトウ カナ	ルネサス SKY	WS
作山 智美	サクヤマ トモミ	ヨネックス	WS
佐々木 彩	ササキ アヤ	ヨネックス	WS, WD
今別府 香里	イマベップ カオリ	三洋電機	WS
関谷 真由	セキヤ マユ	三洋電機	WS
今井 幸代	イマイ サチヨ	ルネサス SKY	WS
村松 瑞穂	ムラマツ ミズホ	三洋電機	WS
江藤 理恵	エトウ リエ	岐阜トリッキーパンダース	WS, WD
平山 愛	ヒラヤマ アイ	七十七銀行	WS
亀谷 望	カメタニ ノゾミ	ヨネックス	WS
今別府 靖代	イマベップ ヤスヨ	ヨネックス	WD
田村 千秋	タムラ チアキ	専修大学4年	WD
多谷 郁恵	タタニ イクエ	三洋電機	WD
三好 奈緒	ミヨシ ナオ	北都銀行	WD
小森 美希	コモリ ミキ	北都銀行	WD
阿萬 絵里香	アマン エリカ	ヨネックス	WD
横関 彩	ヨコセキ アヤ	ヨネックス	WD
今井 杏莉	イマイ アンリ	七十七銀行	WD
大森 舞	オオモリ マイ	七十七銀行	WD
脇田 侑	ワキタ ユウ	岐阜トリッキーパンダース	WD
桜井 みどり	サクライ ミドリ	早稲田大学3年	WD
西山 夕美子	ニシヤマ ユミコ	早稲田大学3年	WD
金森 裕子	カナモリ ユウコ	日本ユニシス	WD
浅原 さゆり	アサハラ サユリ	日本ユニシス	WD
田井 美幸	タイ ミユキ	NTT東日本	XD
服部 麻衣	ハットリ マイ	七十七銀行	XD
小椋 しのぶ	オグラ シノブ	三菱電機	XD
藤原 由衣	フジワラ ユイ	三洋電機CE	XD
後藤 佳代	ゴトウ カヨ	JR北海道	XD
横山 めぐみ	ヨコヤマ メグミ	ルネサス SKY	XD
中村 紋子	ナカムラ アヤコ	三菱電機	XD
小池 温子	コイケ アツコ	広島ガス	XD
高原 里衣	タカハラ リエ	西日本シティ銀行	XD

国別エントリー状況数（2010年3月25日現在）

Country	MS	WS	MD	WD	XD	人数
マカオ	0	1	0	0	0	1
モンゴル	5	0	4	0	0	5
フィリピン	0	1	0	0	0	1
ロシア	2	1	2	0	2	4
チャイニーズタイペイ	10	7	14	4	12	30
タイ	0	0	4	2	4	6
日本	19	34	76	47	43	141

新スタイルおもしろWEBサイト
公開中!!!

SANYO

CHOICE!!
×
SANYO SPORTS TEAM

みんなで選ぶ、お気に入り。















三洋電機バドミントンチーム・ラグビーチームのメンバーがおススメ商品を紹介するサイト「CHOICE!!×SANYO SPORTS TEAM」。

しかも気に入った商品があれば、ここからすぐ購入できちゃいます♪あなたもアクセスしてSANYO スポーツチームとSANYO 商品の魅力をもっと！感じてください☆

Tough&Smile SANYO BADMINTON TEAM

WILD KNIGHTS SANYO Electric Co.,Ltd.



商品が気に入れば、即購入できる！

メンバーの意外な一面が盛り沢山!?

※サイト画面イメージです。

http://direct.jp.sanyo.com/choice/

PICK UP CONTENTS!!

お家の花粉…大丈夫？？



関谷選手と多谷選手が挑む「花粉対策おそうじ大作戦 !!」お家の中も見えない花粉がいっぱい !? 花粉対策に役立つ商品をCHOICE!!

新生活のスタートにぴったり♪



内藤選手と松尾選手が贈る、新生活を迎える人達への「私らしい、新しいライフスタイルをみつけよう！」企画。

新生活の仲間にしたくなる商品をまとめてCHOICE!!

いいほかにもeことたくさん！

SANYO e Club

三洋電機の誰でもご利用いただける会員サイト。いろんなところで貯まったポイントはe Store 内のお買い物に使えます♪ “3つのおトク”を楽しんじゃおう!!

「CHOICE!!×SANYO SPORTS TEAM」があるのはココ！

http://direct.jp.sanyo.com



※サイト画面イメージです。

おトク1 **SANYO e ご愛用者登録**
ご愛用者登録でプレゼントゲット！

おトク2 **SANYO e Research**
あなたの声を商品に！
アンケートに答えてポイントゲット

おトク3 **SANYO e Store**
ポイントを使っておトクにショッピング！
お買いものでポイントゲット

三洋電機株式会社

OFFICIALS
大阪インターナショナルチャレンジ　オフィシャル

大会役員　TOURNAMENT OFFICERS

大会会長	綿貫民輔				
大会名誉顧問	橋下　徹				
	生野照子				
	井手正敬				
大会副会長	三宅祐司				
	籾井勝人				
大会顧問	沓掛哲男	森　喜朗	関谷勝嗣	森田　一	
	加藤三夫	林　芳正	市川一朗	八木橋伸夫	
	佐藤　保	塩川　甫	村上忠治	相場清一	
	権田正一	丸山嘉久	橋本角市	原二三雄	
	中島寿禧	清水規矩雄	植田博宣	青木昭二	
	吹田修一	毛利清志	平田登志郎	小宮淳宏	
	福岡幸一	牧野　武	内多小五郎	濱中　誠	
	今北基夫	伊豆　晃	村山幸雄	本郷節生	
	渡辺成雄	菊地利明	岡本武利	日高　壮	
	山根　怜	佐藤芳朗	野村嘉明	里見光徳	
	木村　寛	遠井稔男	竹林克彦	油井秀男	
	中村　弘	杉田　博	金森義弘	吉田邦男	
	手塚克彦	高澤　基	日野　昇	唐澤清一	
	田中康二	金森　正	保坂和也	宮川忠和	
	山田一六	瀬川欽也	中嶋光司	上野　忠	
	末岡照章	岡崎　彬	神谷哲郎	澤　長壽	
	田中田鶴子	西野昌明	石田真敏	加藤博司	
	成相安信	野口良治	深山英樹	西森潮三	
	池上　任	相澤　潔	瀧山一甫	松本孝一	
	本田正寛	富田善明	里脇清隆	金城芳雄	
	近藤　稔	戸田清一	池田　徹	川島一郎	
	岡村英男	星野忠男	菅原周一	藤田庸右	
	板垣隆房	斉藤永吉	野村明雄	村井広美	
	品川則之	森　義和	宮林章三	中原住雄	
	谷本和廣	西谷一郎			
大会参与	藤本　滋	岩崎昭郎	原　紀征	藤原和文	
	藤原　航	加藤寛治	鈴木勝之		
	秋岡澄子	松王清志	島津八郎	石橋三彦	
	四方光市	宮脇正晴	池田芳麻	片岡輝明	
大会委員長	関根義雄				
大会副委員長	銭谷欽治				
大会委員	阿部秀夫	今井茂満	河崎正紀	上原信彦	
	築地孝彦	高橋英夫	千葉健夫	野村安忠	
	真壁幹雄	山田順一郎	福田　武	浅岡　武	
	能登則男	木戸純一	濱中　勉	三井　裕	
	神戸　照	中山紀子			
	福森勝治	清水義雄	池田紗千子	佐藤彰彦	
	立花良明	川上隆庸	宇治　収	養父一太	
	仲尾信一	月原　朗	武田文則	大住陽一	
	金山在勇	廣瀬園子	喜多　努	西上正一	
	小柴成代	大西正彦	前野純一	森元恵子	
	谷田尚嗣	田村淳子	百野郁子	岡森　祐	
	東條安彦	当山哲司	増田　聡	松村一三	
	土居　毅	藤岡毅至	村上徹嗣	生田健一	
	田上敬子	有田圭一	木村　寛	小田耀子	
	山本浩之	溝口光義	中留玉恵	出口祐太朗	
	倉橋　健	岡田友梨			

大会運営委員　TOURNAMENT COMMITTIEES

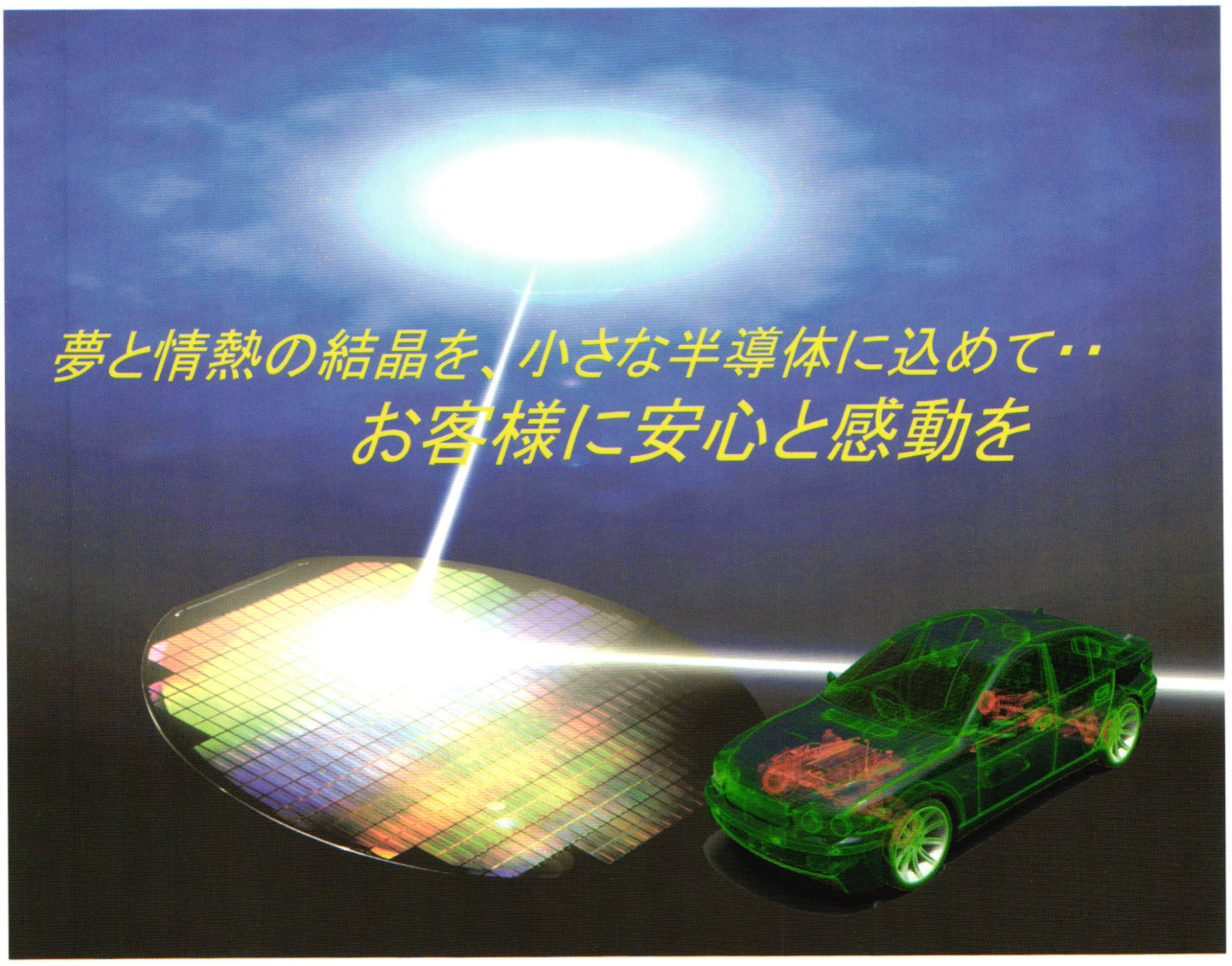
運営委員長	関根義雄			
運営副委員長	銭谷欽治			
委員	今井茂満			
	高橋英夫			
	山田順一郎			
レフェリー				
ディプティレフェリー	山田順一郎			
プレイヤーズセクレタリー	西　祐子	渡会菜々	阿由葉純代	高野直子
	有村英秦			

実行委員会競技役員　EVENT CONTROL in OSAKA

総括	銭谷欽治			
副総括	佐藤彰彦	福森勝治	廣瀬園子	清水義雄
総務担当	月原　朗	養父一太	池田紗千子	大住陽一
	仲尾信一	武田文則	西上正一	喜多　努
	岡森　祐	小柴成代	当山哲司	藤岡毅至
	村上徹嗣	谷田尚嗣	有田圭一	木村　寛
	山本浩之	溝口光義	東條安彦	末藤かほる
	小谷恵美子	竹田由美子	大森滋人	梶谷恵美代
	上岡百合子	和田登美子	植田玲子	山下貴恵
	永谷美穂	枡本みなみ	川内田和子	林美津代
	米谷啓子	須田美智子	手島　幸	赤井睦代
	市川香織	北原良次		
救護担当	川上慶子			
	明治国際医療大学スタッフ			
財務担当(兼務)	福森勝治	廣瀬園子	月原　朗	
広報担当	浅見　勇	三角清一	宇治　収	大西正彦
競技担当	立花良明	森元恵子	土居　毅	前野純一
	増田　聡	小田耀子	生田健一	
放送担当	田上敬子	木村幸子	小林久美子	仲宗根真希子
審判担当	川上隆庸			
国際審判	蔵口勇雄	齊藤篤司		
審判員	金山在勇	百野郁子	田村淳子	松村一三
	中留玉恵	北野公男	山本　剛	福島邦夫
	田上典生	千葉政勝	伊藤義次	高田真一郎
	糸川公久	岩下真志郎	須田祥充	吉野征臣
	磯部光三	松下禎子	吉村敏雄	大西富美昭
	山田敏勝	藤井志保子	梅咲晴代	藤原恵一
	林　栄子	村上徹嗣	小倉美枝子	平角優季
	渡辺明美	増山康子	松井宏子	田中晴子
	栢野智子	鈴木敦子	真鍋稔乃	小島典子
	米倉恵里	石川亮子	井脇和子	高見美紀
	吉田聖子	生賀智恵子	杉田由美	北野加代子
	竹田朋子	喜多広幸	森本　毅	孝石麻紀子
	木村好徳	三坂裕士	宮本忠之	永安仁詩
	木下貴嗣	有薗重光	孝石　健	大植康裕
	上地　稔	今村勇史	横井栄子	板倉恵子
	池端康平	上田富康	永井　泉	植村　薫
	木戸俊治	山本卓也	徳永克也	田端　悠
	広岡輝男	徳富信明	赤松直紀	土屋記己子
	上野美穂	小澤夏子	出口祐太朗	岡田友梨
	倉橋　健	高田有佑	広瀬　統	高島藤子
	乃美喜代子	丸草智明	小林幹男	市来幸二
	片山裕章	中村康正	松村和樹	桐原早苗

大会プログラム/ポスター
企画・デザイン　（有）ビーファクトリー

Empowered by Innovation NEC



NECセミコンダクターズ九州・山口株式会社

本社／熊本川尻工場　熊本県熊本市八幡一丁目1番1号　〒861-4195
TEL(096)357-2111(代表)　URL http://www.sky.necel.com/

山口工場	山口県宇部市東万倉神元	〒757-0298	TEL(0836)67-2111(代表)
大分工場	大分県中津市伊藤田4200	〒879-0111	TEL(0979)32-7111(代表)
福岡工場	福岡県柳川市西浜武 955	〒832-0081	TEL(0944)74-1511(代表)
熊本錦工場	熊本県球磨郡錦町一武2626	〒868-0394	TEL(0966)38-3011(代表)

2010年4月1日から社名が、ルネサス セミコンダクタ九州山口株式会社となります。引続き、バドミントン部の応援をお願いいたします。

SANYO



想いをすべての一打に込めて。

対戦相手を翻弄するテクニックを。全力で走り続けるスタミナを。
ピンチに崩れることのないメンタルを。
鍛え、磨き抜いていく。期待がどれだけ大きくても、それを越えていく一打を放つために。

Tough & Smile
SANYO BADMINTON TEAM

三洋電機株式会社
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号
TEL 06-6991-1181(代)
www.sanyo.co.jp/social/badminton/